

令和二年二月一日発行（毎月一回一日）  
書象 第六十八卷 第二号 通巻七七二号

# 書 系



私たちが「日本の書道文化の  
ゴネス「書形文化遺産登録」を  
応援しています。」



日本書道芸術協会

2020- 2

## 卷頭言

### 書象展を楽しもう

古くからの書象展図録の信山先生のページを広げています。そして楽しんでいます。あの信山流が、精神はそのままで年ごとに変わっています。この輝きは何なのでしょう。苦悩する芸術家のやむにやまれぬ表現でどうか。だとすれば、その昇華は美しすぎます。どんな思いをその作品に託されたのでしょうか。いろいろと考えてしまします。見飽きません。この永い継続の中で日々新たなもの確かなものを追い求める姿、これは書象会員の学習の目標であり精神なのだと思います。

書象展は、書象会員全員が出品する年に一度の展覧会として位置づけられています。五十九年前、上條信山先生の書に対する理想を世の中に問うべく産声をあげ、今や毎年の出品数が千点をはるかに超える大展覧会に成長してきました。信山先生のお心が世に受け入れられた証です。書象展は会員にとって言わば年に一度のお祭り、一作に全精力傾けてこれが自分という作品を仕上げたいものです。書象誌で競書中心に勉強されている方も、作品発表の良い機会となります。新たな挑戦があれば新しい自分を見つける楽しみもあります。出品

一九七六年 第十五回書象展 西郷南洲句

上條信山先生書

に関しては書象会本部に  
遠慮なくお問い合わせ下さい。

ワンチーム。昨年、国

中が夢中になった日本ラ  
グビーチームの言葉でした。書象会員一丸となっ  
て第五十九回書象展を盛  
り上げてまいりましょう。

副理事長 樋口玄山



遠  
也  
世  
居  
庭

遠裔也世居庭

2月20日必着。入選作のみ発表します。出品券を貼付

・文字の大小・中心に  
注意して、動きのある  
作品に仕上げる。  
老…上部の空間を広く

死…右部を小さく。

老

盡…筆順に注意し横画  
を平行に。

盡

無…横画の長さと口との  
バランスに注意。

無

集…○部の空間を広く。  
吉

老死の盡くることも（無し）苦集（滅道も）無く

2月20日必着  
出品券を貼付

・文字の中心と大小に  
気をつけ、腕を大き  
く動かして書きたい。

智：「矢」を縦長に、  
「口」を横広に、  
「日」は文字の中  
心よりも右側に寄  
せて動きを出す。



亦…画数が少ないが筆  
脈を大切にして流  
れを出す。



仮名規定【仮規】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

全体構成は左図参照。

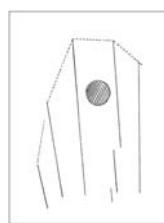


の(能)こりたる雪に(ニ)ま(万)じれるうめ(免)の花  
は(者)やくな(那)ちりそ(所)ゆきは(八)け(介)ぬ(奴)とも(毛)

(万葉集)

2月20日必着  
出品券を貼付

- 二行目から三行目への渴筆部分は細くならないようにする。
- 各行の書きだしの位置に注意したい。
- 一行目、四行目に含墨し、全体を引きしめる。
- 流れが止まらないようにする。



仮名規定【仮規】（級位）

上條信山先生書

- 二字、三字、四字連綿の順に部分の練習をする。

か 司 は ら に く

行の中心を意識しながらも、字幅の変化に注意して流れを出したい。

縦に長くのびる「りし」部は細くならないようにする。

「か(司) は(ら)に(く)



か 司 は ら に く

ふるきよき (支) か (可) は ら に (二)  
ちどりしば (者) な (那) く (赤人)

花落ちて暁風  
静かに鳥啼ひて  
春日遅し

望山



花落ちて暁風静かに  
鳥啼いて春日遅し

(王都中句)

2月20日必着

出品券を貼付

入選作のみ発表します

- 文字を左傾にして上下のリズムをつける。  
(縦画は垂直にしない)
- 漢字、ひらがな共に同太線で書くよう心掛ける。
- 点画をハッキリ示し、重厚な風格に表現したい。
- 点画をハッキリ示し、重厚な風格に表現したい。



風花雪月（鄭谷句）自然の美しさを讃えた語

- ・ 風 構えをスピードに。
- ・ 花 二つの点を離して勢いよく。
- ・ 雪 雨かんむりを重厚に。
- ・ 月 思いきって縦長に。一本の縦画をスピード豊かに。

条幅随意【条隨】

中村巍山先生書

入選作のみ発表します  
出品券を貼付

梅花雪月  
柳色煙雨  
中村巍山

梅花雪月  
柳色煙雨  
中村巍山

（章考標）

- ・ 信山バリの行書に調和するような曲線で行意のある平仮名を表現する。
- ・ 文字の大小長短を意識し、一氣に書いて流れを出す。
- ・ 「梅花雪」、「煙」、「酒」はP14参照。

思近考代的

中学二·三年規定 [学毛]

内藤望山先生書

空冷工具

中学一年規定 [学毛]

露崎玄峯先生書

春心悽

小学五年規定【學毛】

畷中高山先生書

風雨歸來

小学六年規定【學毛】

荻田光山先生書

毛筆字

小学三年規定【学毛】

山口啓山先生書

作曲

小学四年規定【学毛】

大澤梢光先生書

小学一年規定  
【学毛】

杉山曉雲先生書

小学二年規定  
【学毛】

渡辺華雪先生書

學毛

學毛

## 硬筆規定

人間の徳はその異常な努力によってではなく、その日常の行為によって測定さるべきも（毛）のである。（パスカル）

一般規定【二硬】（師範・準師範・段位）

上條信山先生書

人間の徳はその異常な努力に  
よってではなく、その日常行為である。  
よって測定されるべきである。

一般規定【二硬】（級位）

藤岡月華先生書

万葉集は奈良時代の末期に成立

いたと見らるる日本に現存する

最古の和歌集である。

中学規定【学硬】

二瓶嶽風先生書

私達の学校では多摩湖一周の  
耐寒健歩会を実施し、心の強  
さを養っています。氏名

人間の徳はその異常な努力によってではなく、その日常の行為によって測定さるべきも（毛）のである。（パスカル）

## 小・中学生随意課題【学隨】

左の字句を半紙に書いてください。

表現自由。入選作のみ発表します。  
出品券を貼付してください。

### 手本解説

硬筆一般規定（師範・準師範・段位）「異常」「行為」は左図参照。

小 一・二年 学	人
五 小 六 年 学	品格
中 学	道
三 四 年 学	仏像

黒子年

角力

梅花雪

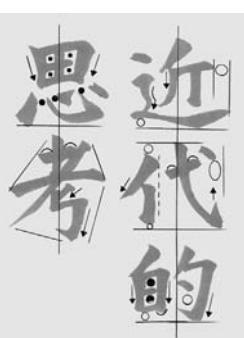
煙酒

・条幅随意「梅花雪」「煙」「酒」は左図参照。

学生部規定

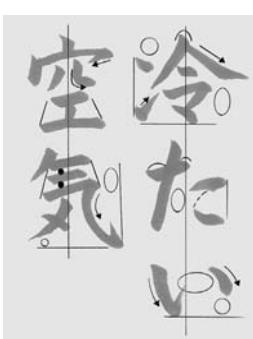
梅、花、雪

煙、酒



中学二・三年

「近」の二画目は垂直部を長く。「代」の四画目は横画のほぼ中央で交差する。「的」は右を縱長にして、下部をあさげる。「思」は田の左右の縦画を内側に向ける。「考」の最終画は折れてから内側に。



中学一年

「冷」は五・七画目の位置を揃える。「た」は三画目の長さと角度に注意し、「い」の一本の線はや丸みをつける。「空」は左を最大幅に。「氣」は氣の横画を等間隔にし、メは中心より左側に。

豊かな海を守るため漁師  
さんたちが山に木を植え  
始めました。

名前

石峯支部 年 級段

小学三・四年規定【学硬】

大島皎山先生書

おには外、福は内。大きな  
声で豆をまき、年の数だけ  
拾つて食べた。

名前

石峯支部 年 級段

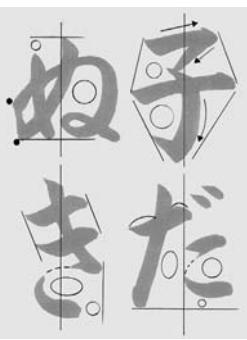
小学一・二年規定【学硬】

芦川臨泉先生書

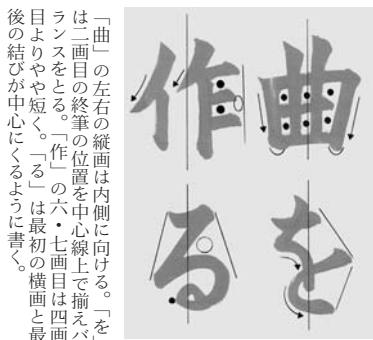
き	が	木
れ	白	に
い	い	つ
だ。	花	も
	の	つ
なまえ	よ	た
支部	う	ゆ
年	で	き
きゅう	だん	

\*出品券を貼付  
して下さい。

一般(師範・準師範・段位)・一般(級位)・中学生は鉛筆使用のことと(中学生は鉛筆も可)。小学生は鉛筆使用のこと。  
作品の大ささ→たて18cmよこ7cm 小一・二課題→2.1cm中のマス目  
の紙を使用する。小三・四・五・六課題→2.1cm中の罫線を引く。



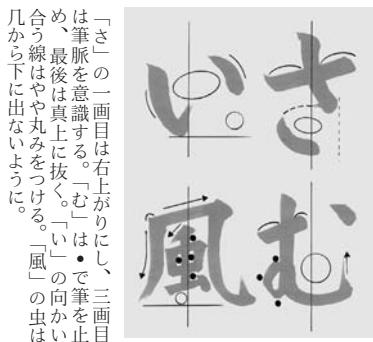
小学二年



小学四年

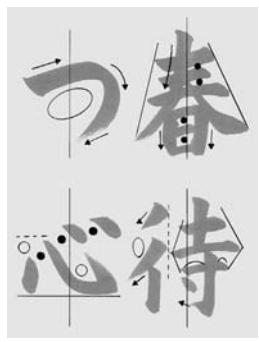


小学六年



小学一年

「雪」は冠を幅広く、ヨをバランスよくおさめる。「降」の最終画を止める書き方は許容。「る」は三角形を概形とし中心線上で結ぶ。「町」は田の空間を均等にし、下部を開ける。



小学五年

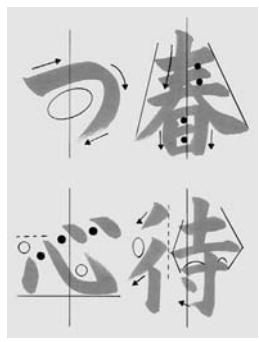
「曲」の左右の縦画は内側に向ける。「を」は二画目の終筆の位置を中心線上で揃えバランスをとる。「作」の六・七画目は四画目よりやや短く。「る」は最初の横画と最後の結びが中心にくるように書く。



小学三年

「子」の二画目は丸みをつける。「だ」は二画目の長さと角度に注意する。「ぬ」は軽く筆を止めて筆先をまとめるよう注意。

「春」は五画目の始筆の位置に注意し、「待」は中心を意識し、旁の幅を広くする。「つ」は右上がりに書き始める。「心」の概形は横長にし、「二」二画目の下辺を揃える。



古典研究シリーズ ④〇【古典】

乙瑛碑

後漢・永興元年（一五二年）

今月のテーマ

写実的臨書  
大字（二字）



孔子

永興



神明

大聖

書き方

- ① 文字数は二字。左の4つの中より選んで書いて下さい。
- ② 落款を入れて下さい。
- ③ 作品の表左下に、支部名と氏名、又は号を鉛筆で記入して下さい。古典研究の出品券を貼付して下さい。

（編集部）

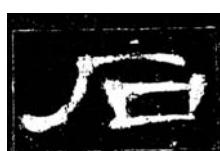
解説

乙瑛碑は、後漢の永興元年（一五二）、魯国（るこく）の相（大臣）乙瑛（おんぎやう）の申請により、孔子廟（こうしひょう）に百石卒史（廟の祭祀を掌る役人）が置かれたことを記念し、乙瑛ほか、関係した人々の功績を讃えた碑です。碑は現在、山東省曲阜（きょくふ）にある孔子廟の、漢魏碑刻陳列館（かんわいひこくれんれつかん）に収蔵されています。

◆特徴

前回の曹全碑は文字のスタイルがよく、優美な波磔が特徴でした。それに対して乙瑛碑は、重厚で雄大、そしてたっぷりとした厚みのある波磔が特徴です。

曹全碑



# 松本市美術館便り

上條信山記念展示室

令和二年二月四日(火)～令和二年五月二十四日(日)

## 作品たちの晴れ舞台③

松本市美術館は、2002年4月にオープンし、17年が経ちました。その間、記念展示室ではさまざまなテーマで年3回程度の展示替えを行い、その数は約50回を数えます。代表作であればご覧いただく機会が多くなりますが、その陰で展示される回数が少なかった作品もあります。展覧会出品歴のない作品、若書きの作品、形状により頻繁に展示することが難しい作品など。

今回、これまで日の目を見る機会が限られていた作品にスポットを当て、シリーズでご紹介します。肩肘張らない率意の作であったり、書風を確立する前の過渡期の書きぶりであったりと、時々に生まれた作品たちの晴れ舞台をご覧ください。

No.	作品名	制作年	寸法(cm)	主要展覧会
1	杜甫詩 「和裴迪登蜀州東亭送客逢早梅相憶見寄」		44.7×32.0	
2	養心		34.0×68.9	
3	大成若缺		55.9×34.3	
4	天衣		34.0×69.1	
5	無縫		34.5×67.8	
6	崔顥詩「黃鶴樓」		66.6×30.0	
7	至誠		33.9×69.0	
8	野沢凡兆の句		67.0×44.2	
9	悦		69.0×68.2	
10	王昌齡詩 「芙蓉樓送辛漸」	昭和63年 (1988)	109.8×57.2	第32回朝日二十人展
11	吟雪		67.7×138.5	
12	忙中之閑		68.0×69.8	
13	杜甫詩 「春日憶李白」	平成元年 (1989)	58.0×60.0	
14	和敬		67.8×67.9	
15	白居易詩 「賦得古原草送別」	昭和52年 (1977)	62.5×139.0	
16	飛		91.0×104.3	
17	無中之有		69.4×69.8	
18	古紋碑(拓本)	昭和26年 (1951)	136.0×107.8	
19	魏徵詩「述懷」	昭和17年 (1942)	各195.0×33.4	
20	松柏勁心	昭和44年 (1969)	237.2×65.7	第21回毎日書道展
21	李白詩 「送儲邕之武昌」	昭和33年 (1958)	133.3×64.4	謙慎展
22	大伴家持のうた		136.0×29.4	



古絃碑(拓本)



大伴家持のうた



松柏勁心

傘寿記念  
ふるさと喬木

田中節山展

会期 令和元年十一月十五日（金）～十二月八日（日）  
会場 棕鳩十記念図書館

私は、この美しいふるさと喬木村を離れて間もなく六〇年になります。

平成四年に、喬木村民族資料館において、初めて個展を開かせていただきました。私の喬木中学校時代の同級生の有志グループ（さわやかイレブン）が、その時以来、ずっとご支援して下さっています。あれから二十六年間、飯田での個展「墨躍る田中節山展」を開いて以来の個展です。喬木村の皆さんには、今までに、私の作品を多く所蔵していただき、うれしい思いでいました。

今年の秋の村の文化祭の一端として、椋鳩十記念館で「傘寿記念 ふるさと喬木 田中節山書展」を開かせていただることになりました。感謝の思いでいっぱいです。村役場や村の方々にお持ちいただいている作品の一部も展示させていただきました。

田中節山



(45.5×38)



(54×64)



(170×95)



(35×139)



迫力満点のデモンストレーション



丁寧に作品解説をする田中先生



(139×35)



(139×17×2)

### 田中節山書展を参観して

田中節山先生の三回目となる個展が先生の郷里、長野県の飯田市伊那で開催されました。会場には第五回出品作の「剛毅」や、地元の方々が所蔵する半切作品など約四十点が整然と陳列されました。

清冽な信山バリ、先生の代名詞とも言える渾厚な木簡調をはじめ、調和体や篆書といった個展ならではの表現が実際に多種多様な形式で展示されていました。作品を拝見していると「色々やってみると良いよ」というお稽古での何気ないお言葉がふと思い出されました。作家として追求すべき表現の深さ、広さとはどうあるべきか、そのためにはどれだけの時間と労力を費やせるか。お言葉の意味を先生の作品を通して深められた反面、改めて自分自身の勉強不足を痛感しました。

会期中には「子供体験イベント」「ギャラリートーク」が企画され、その時間になると会場は大勢の人達で賑わっていました。ギャラリートークでは、作品に込めた想いや、制作にまつわるエピソード、用具用材の大切さ、師である上條信山先生の教えなど、一点ずつ分かり易く丁寧に解説をいただきました。また、先生は来場者一人一人に丁寧に対応され、図録にサインをされていました。参観に訪れた高校生にも気さくに声を掛けられるなど、皆さんの笑顔で会場は穏やかな雰囲気に包まれていました。

個展は作家の集大成を世に問う重要な催しです。作品の準備をするだけで大変な労力を要しますが、今回の個展には「書の普及」という、もう一つ重要な意義があつたと感じました。ご多忙にも関わらずイベントを開催されたのは、分かりやすい言葉で書の魅力を伝えること、そして、書くことを通じて書の楽しさを体験することを重視されていたからだと思います。このような地道な取り組みが書の普及、ひいては書道文化の担い手の育成へとつながっていくのです。

ご自身の事だけではなく、常に周囲への気配りを忘れない先生らしさに溢れた個展でした。先生の想いは確実に来場された皆さんに届いたに違いありません。弟子の一人として、書風だけでなく、その想いも継承していくよう、日々精進していくことを誓った一日でした。

(藤森大節  
記)



## 特待生

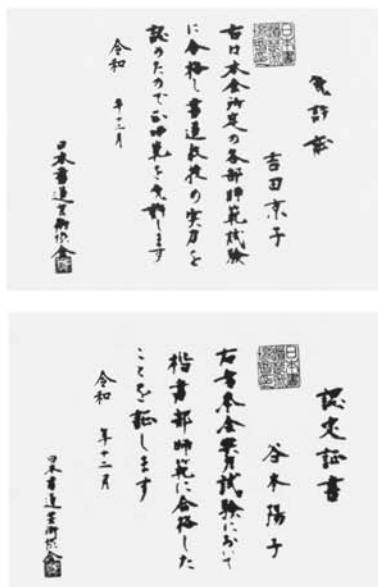


小・中学生準八段に達した者は「特待生試験」合格により八段特待生となる。「8級下」から始め、四十二階級を登りつめた栄誉を讃え、賞状ならびに副賞として墨と楯（左写真）を贈るものである。

## 認定証の申込みについて

師範昇格試験において、正師範・師範・準師範に合格し、その認定証を希望される方は、該当各書体の合格年月を記入した申し込み書に費用を添えて書象会本部庶務部までお送り下さい。

尚、お申し込みいただいたから認定証の発送までに、若干時間のかかることがあります。ご了承下さい。



## 看板の頒布のお知らせ

書塾用に看板を用意しております。ご希望の方は左記の要領でお申込み下さい。

### ◎資格条件

書象誌において、一体でも師範に合格した方。

### ◎申請料

三万円（送料・税込み）

### ◎材質・寸法

檜無垢 A タテ六〇cm×ヨコ一五cm×厚さ一cm

B タテ四五cm×ヨコ一三cm×厚さ一cm

※A・B共に貼り畳み入り

### ◎申請方法

師範合格書体・年月と御希望の寸法A・Bのどちらかを記入して、申請料と共に書象会庶務部まで、現金封筒でお申し込み下さい。

### ◎お問い合わせ・申請先

〒180-0001 武藏野市吉祥寺北町四一三一六

書象会

庶務部

TEL FAX ○四二三一五三一九七四三



## 昇段級試験特集

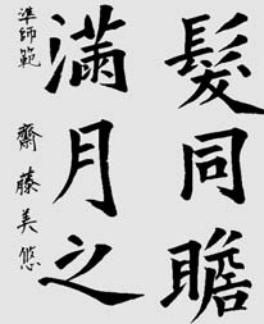
令和年度秋季昇段級試験の合格作品の秀作と審査評を掲載いたします。

合格率は、師範74%（受験者二二四名）、準師範62%（同二五四名）、特待生49%（同二五三名）と、師範の合格率が高い結果となりました。

漢字の作品では名前の大ささや位置が相応しくないために不合格となつた作品も見られます。名前も作品の一部であることを忘れず、日頃から意識してください。仮名の作品では墨が薄い、あるいは渴筆が多いといった作品が散見されました。いずれも用具用材の影響が大きいと思われます。墨液ではなく墨を磨る、仮名用の半紙を使用する等、研究の余地あります。特待生の毛筆では紙面に対する適切な文字の大きさがポイントに、硬筆では字間、行間を意識して書けることが合否の分かれ道となりました。掲載作品を参考に、今後の学習にお役立ていただければ幸いです。最後に、作品は出品条件を満たした上で提出いただくようお願いします。支部名、段級位の書き漏れ、鉛筆を使用した硬筆作品（一般はペンを使用）の他、執拗に二度書きをした作品も確認しました。出品条件以前の問題ですので、どうぞご注意ください。

（編集部）

師範 大象 齊藤 美悠



い品にて随修ま見るや強で手  
ると優い所鍊つ事かく、線に  
なれてにのてにのてに、線に忠  
つた大光跡ある。まてびも実  
て作變つがる。



期今法びちたに明漂ながのや  
侍後のやつの仕るつ翌、字や  
でがたかはいは上いて氣爽が大  
きる。がためなた、が作り感やあき  
る。々で腕の落つ品がかるめ

師範 竹華 竹田奈都美



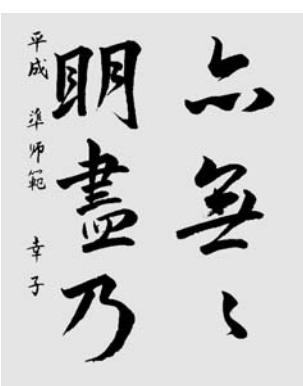
あがし鍊をこ見出ど清ない正  
事の成らる。確  
る。し。確  
に今てつ  
みで後ほ  
る筆遣

師範 松代 宮山 友美



で出てみさるい申流鍊定穩  
ある魅取を。作しれどがかかる  
う。お願いします。上力つよ懐品分  
が的てくのであり、  
りない掴広ある

師範 平成 成田 幸子



墨量豊かで  
直をうまく  
使い分けで  
表現してい  
る。空間の  
広さも生か  
されており、  
明るい作品  
となつた。

準師範 須坂 富澤 智恭



でな例でるて確びいいささ余白  
あつなかの書にや縦るがとと白線の美  
ある。作るがけ安か画、光線の強  
う。因と清事いし正の

師範 柏心 寺尾 輓舟



大きな動き  
で骨力のあ  
る線が魅  
力である。  
全体構成も  
見事で、緊  
張感が漂つ  
てくる。

師範 平成 成田 幸子

師範 若竹 柄澤 憧月



五段  
弘美

弾力のある伸びやかな線と、懐の広い文字造形が印象的。余白の美しさも見事で、爽快な作品に仕上がっている。



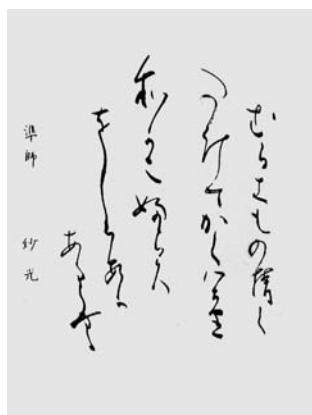
準師範 芙蓉 川名 弘美



準師範 月 増子 君子

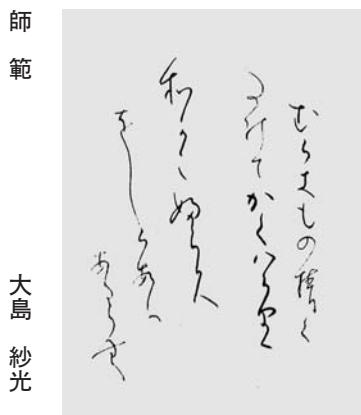
軽快なタッチで運筆され、線質が伸びやかで美しい。字構造も高いために、文が広く、格調も高いが、作品は文字が丁寧に書かれています。

師範 久喜 中谷 美子

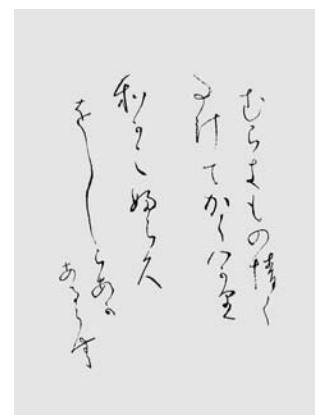


準師  
紗光

力強く大胆な筆さばきを持続させ、紙面構成も素晴らしい。濃墨であるが、墨色の変化にも富んだ秀作。



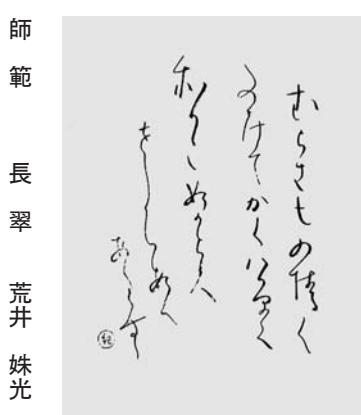
師範 玄黙 秦 賴山



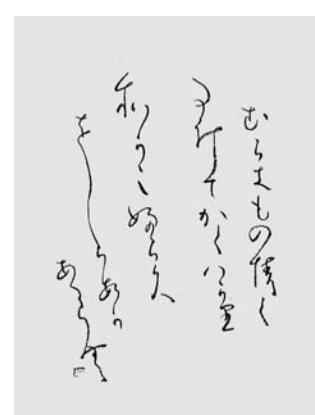
師範 玄黙 秦 賴山

丁寧な筆遣りと穏やかな線質が印象的。確かに執筆法で書かれおり、しなやかで力強い表現ができた。

準師範 葉月 鈴木 敏子



準師範 長翠 荒井 妹光



準師範 有象 上原 白麗

墨量を控えた渴筆主体の表現で上品にまとめた。無理のない筆遣いで書かれた秀作である。

現代の書ハシの三才手、多く柔友愛貌をとげて、書の傳統を熟視して、一方ではその東傳から脱却する。

長翠 準師範 荒井 妹光

文字の大小が自然で、行間、字間のバランスも絶妙。確かな運筆で伸びやかに書いている。連綿線も美しく、作者の高い技量がいかんなく發揮されている。

準師範 漢心 西野 漢心

現作の書はこの三種類多く利互  
を競ひてゐる。書の傳統を熟視し  
一方でその東洋から脱却する所もあ  
る。漢心 準五段 漢心

広めにとられた字間も緩急をつけた運筆と、気脈の貫通により、精彩あるものとなつた。行の流れも美しく、上品に仕上がつた。

特待生 伊奈 高木 渉聖

漱石枕流とは、間違ひを認め  
ずに言ひ逃れをするような能心  
度のことを言う。伊奈中二準八段  
高木 渉聖

硬さが見られるものの、それを補つて余りあるほど堂々とした書きぶりがよい。字間、行間にに対する意識も高い。

特待生 愛心 佐藤 泽

漱石枕流とは、間違ひを認め  
ずに言ひ逃れをするような能心  
度のことと言ふ。

愛心 中三準八

行書の特徴に対する理解の深さが感じられる。平仮名も漢字と調和している。全体感も良い。



特待生 研扇 松丸真乃介



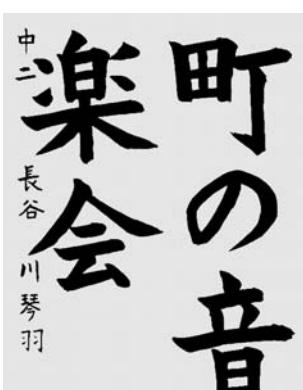
特待生 晓華 中島 茉央

一点一画丁寧で、日頃の努力の成果が十分に發揮できてい  
る。今後は緩急をつけて書けるよう、さらに精進してほしい  
い。

瑞祥 中三準八  
大隅 彩加

特待生 瑞祥 大隅 彩加

特待生 房風 長谷川琴羽



基本に忠実な筆づかいと確かな字形が光る秀作。点画の接し方、組み立て方など、細部に注意を払つて書けていく。

特待生 若竹 神谷 未来



特待生 名東 滋谷 遥

伸びのある素直な線質と文字の概形を意識して書いている。配けてある余地はさらに大きい。



筆先の弾力を効かせた伸びのある線質がよい。筆づかいで書いた字形、楷書の特徴が理解できる。

師範

志摩 倉谷 奏風

師範

八戸 谷地 春光



志摩  
倉谷

奏風

師範

やや小ぶりだが、位置・大きさ・形ともに良く、明るい作品にまとめた。



聖  
井口

準師範

文字構造が広く、雄大で伸びやかさのある作品に仕上がった。



碧瑤  
碧瑤

聖  
井口  
碧瑤

麗墨  
折笠  
琴羽

師範

含墨豊かで形も良い。強さの中での甘さが魅力的な作品。



師範

含墨豊かで形も良い。強さの中での甘さが魅力的な作品。



春光  
谷地

春光

四谷  
高杉  
景汀

準師範

懐広く、力強さと伸びやかさがある秀作。



碧瑤  
碧瑤

茜  
佐藤  
茜沙

確実な筆遣い、逆筆が冴えた。潤渴の変化が作品の格をあげた。

スピード感に溢れ、線に切れ味があり全体感も良い。

書象会通信条幅研究会 令和元年度受賞者

◎最優秀賞	島 納戸 碧雲
◎優秀賞	島田 島崎 鶴峰
遠藤 翠雅	島田 島崎 鶴峰
小林 真志	島田 島崎 鶴峰
下平 成苑	島田 島崎 鶴峰
藤井 照雲	島田 島崎 鶴峰
横田 静素	島田 島崎 鶴峰
福井 照雲	島田 島崎 鶴峰
青柳 飯田	島田 島崎 鶴峰
飯田 天澄	島田 島崎 鶴峰
井上 緑水	島田 島崎 鶴峰
今井 雅幸	島田 島崎 鶴峰
岩月 悠水	島田 島崎 鶴峰
上島 華遙	島田 島崎 鶴峰
大平 彩紅	島田 島崎 鶴峰
北村 穆舟	島田 島崎 鶴峰
倉谷 加藤	島田 島崎 鶴峰
加藤 垣内	島田 島崎 鶴峰
垣内 大村	島田 島崎 鶴峰
大村 堀尾	島田 島崎 鶴峰
堀尾 平野	島田 島崎 鶴峰
平野 野口	島田 島崎 鶴峰
長谷川 智翠	島田 島崎 鶴峰
石心 藤澤	島田 島崎 鶴峰
花瑠 竹虹	島田 島崎 鶴峰
天澄 竹野	島田 島崎 鶴峰
翠紗 塚原	島田 島崎 鶴峰
露苑 田村	島田 島崎 鶴峰
高橋 高橋	島田 島崎 鶴峰
高橋 鈴木	島田 島崎 鶴峰
鈴木 庄司	島田 島崎 鶴峰
庄司 鈴木	島田 島崎 鶴峰
高田 香扇	島田 島崎 鶴峰
香扇 露登	島田 島崎 鶴峰
高橋 露楓	島田 島崎 鶴峰
露楓 天翠	島田 島崎 鶴峰
天翠 壱登	島田 島崎 鶴峰
壹登 香扇	島田 島崎 鶴峰
宇野 露楓	島田 島崎 鶴峰
宇野 征光	島田 島崎 鶴峰
征光 潤裕	島田 島崎 鶴峰
潤裕 加藤	島田 島崎 鶴峰
加藤 加藤	島田 島崎 鶴峰
本間 宇野	島田 島崎 鶴峰
藤花 潤裕	島田 島崎 鶴峰
藤花 惠風	島田 島崎 鶴峰
典楓 長谷川	島田 島崎 鶴峰
根岸 草竹	島田 島崎 鶴峰
鈴華 西光	島田 島崎 鶴峰
西垣 光風	島田 島崎 鶴峰
市ノ瀬素州 市村	島田 島崎 鶴峰
西垣 光風	島田 島崎 鶴峰
彰は書象会総会・	島田 島崎 鶴峰
新年会(一月二十日十二時より)	島田 島崎 鶴峰
の席上で行われます。受賞の方は	島田 島崎 鶴峰
ご出席下さい。	島田 島崎 鶴峰
◎皆勤賞	島田 島崎 鶴峰
和泉 秋葉	島田 島崎 鶴峰
耀光 景華	島田 島崎 鶴峰
和泉 秋葉	島田 島崎 鶴峰
耀光 景華	島田 島崎 鶴峰
◎特別賞	島田 島崎 鶴峰
(得点者) 青柳	島田 島崎 鶴峰
(得点者) 緑水	島田 島崎 鶴峰
(本年度最高得点者) 青柳	島田 島崎 鶴峰
(本年度最高得点者) 緑水	島田 島崎 鶴峰

\*努力賞以上の方、

特別表彰の方の表

彰は書象会総会・

新年会(一月二十

六日十二時より)

の席上で行われま

す。受賞の方は

ご出席下さい。

令和二年 書象会講習会実施計画

令和二年の講習会・練成会は次のとおりです。

ふるってご参加ください。

二月九日(日)

実技講習会

第五十九回書象展の作品をつくるう

講師 田中節山先生

藤森大節先生

会場 武蔵野公会堂

午前十時から十六時

四月～五月中旬

かな会講習会

信山流の書法(基本)

四月開催予定

講師 中村巍山先生

坂牛静心先生

会場 未定

午後一時から午後四時

年間四回実施予定 以下六月九月十二月予定

書象展会期中の行事

六月十四日(日)

※学生展との連携や講習会など

六月十四日(日)

※支部長講習会

六月十七日(水)

※実技講習会 信山流の書法(張猛龍碑)

十一月上旬

※実技講習会 信山流の書法(条幅)

※印は計画中です。

・松本市美術館参観企画は展示計画・内容により計画予定です。

・夏季合宿練成会は今年度に限り、東京オリンピック開催に伴つ会場確保等困難が予想されますのでお休みいたします。

・信山流地方講習会・支部強化練成会など地区や支部長・会員の皆様のご要望に応えるべく努めますので本部までご相談くださいますようお願いいたします。

・信山流地方講習会・支部強化練成会の申込書式は本部迄お問い合わせください。なお右記日程会場は変更する場合がございます。  
また各研修会の詳細については書象誌・HP・支部長宛文書等でもお知らせする予定です。お問い合わせは本部事務局までお願いします。

## 吉見松香書展を終えて

会期 十一月二十五日（月）～二十七日（水）  
会場 スペースゼロ・ギャラリー

この書展は、書象会有志の方の発案により、そして田中節山先生、市澤静山先生、内藤望山先生、中村巍山先生方から贊助出品をいただくという強力なお力添えをいただきましたおかげで、実現できた書展でした。改めて深く感謝申し上げますとともに、心より御礼申し上げます。

書展の内容は、森鷗外が私たちに残した言葉を書に表現することでした。行書との調和体はよく見てきましたが、形にはまった書では面白みがあります。紙の色、形、大きさ、墨の色も工夫をして、書体も隸書や草書の調和体にしたり、横書きの表現にも挑戦しました。これらの作品が出来上がるまで、先生方からいろいろご指導いただいたことは、今後の作品制作の上に生かしていきたいと思っています。

どうぞ今後ともよろしくお願い申し上げます。

（吉見松香記）



バラエティーに富んだ作品が並ぶ



吉見先生（左から2人目）を囲んで



樋口先生による作品の批評会



出品者がそろって記念撮影

## 第12回樺の森書道展

会期 十二月十一日（水）～十三日（金）  
会場 松本市美術館ギャラリーA・B  
主催 樺の森書道会

北アルプスの山々が白く美しい冬の松本市美術館で、第十二回樺の森書道展を開催しました。会場の正面には特別出品の上條信山先生、上條素山先生の作品を飾り、その周りに会員の行書、隸書、仮名など様々な書体の大小の作品七十数点を展示しました。

新元号「令和」の出典となった万葉集の「梅花の歌・序文」を書いた作品や、王右丞と蘇東坡の漢詩百首を、全紙一枚を貼った巨大な紙四枚に連ねた樋口先生の大作などが並びましたが、今回はギャラリーA・Bを繋げて使用できたので、明るく広々とした展覧会になりました。

会期中には、多数の来場者がありましたが、書象会と地元の書道関係の先生方から、温かい励ましの言葉をいただきました。最終日には、樋口先生の作品講評が行われ、会員一同次回展に向けて更なる精進を誓いました。

（上條哲山記）

## 信州書象会 講演会

会期 十一月二十四日（日）  
会場 松本市勤労福祉センター  
主催 信州書象会

## 書き初め講習会に参加して

会期 十二月八日（日）  
会場 松本市勤労者福祉センター



荻田光山先生による講演



参加者も水書き書道を体験  
（遠山天妙記）



心をこめて書きました

信州書象会では、書道展と講演会を隔年で実施しています。今年は、十一月二十四日に松本市勤労福祉センターで、荻田光山先生による「小中学校の書写教育～水書用筆の導入を中心とした～」の演題で講演会が行われました。これは学習指導要領の改訂で来年度より水書用筆が使われることになるためです。

講演会の前半は映像を用いた水書指導についての解説、後半は鉛筆の先に水書用筆を刺しての実技指導でした。穂先に水をつけて横線、縦線、波線などを書いてみました。最初から文字を書くよりも、書くことを楽しみながら教えていくのが良いのだということでした。

この講習会に参加した信州書象会の会員には、小学生を教えている方も多くいますが、講習会で学んだ内容がきっと役に立つのではないかと思いました。

講演会の終了後は、歩いて数分の松本市美術館に移動し、上條信山記念展示室で先生の作品を鑑賞し皆満足して解散しました。

昨年に引き続き、今年も師走に行われた書き初め講習会に中学二年の生徒三名を連れて参加させて頂きました。会場には長野県内の小・中学生十八名と支部長や保護者十四名が集まり、竹内墨洋先生、寺尾碩雲先生よりさまざまな手本を書いていただき、学校や各地で行われる書き初め展の作品制作に取り組みました。

先生方からは、昨今の小・中学生の作品の傾向、筆使い、墨の付け方などを丁寧に教えて頂いたので、児童・生徒のみならず、指導者にとっても大変有意義な一時となりました。講習会が終わる頃には、見違えるような良い作品を書いた児童・生徒が何人もいました。さらに松本市美術館の上條信山先生記念室の見学では、ビデオ映像の上條先生のお姿や迫力のある作品に見入ったりする生徒たちの姿が印象的でした。このような貴重な体験をさせていただいたことに心より感謝申し上げます。

最後になりますが、今回参加させて頂いた生徒三名は、十月十二日の台風十九号で被災した中学校に通っています。三名とも自宅等の被災は免れましたが、浸水した学校の泥かきや、被災した友人宅の片付けなどを手伝ってきました。残念ながら、年明けの書き初めは中止となりましたが、それでも課題の「力強い前進」を書き上げました。「復興」を目指して、学校、地域の「力強い前進」を願わずにいられない思いがあつたことも、一言つけ加えさせていただきます。

（畔上肖栄記）

## 特待生紹介

(学年は試験合格時のものです。)

### 努力した結果



玄樸会支部 中三  
南 賢成

勉強と部活との両立は大変でしたが、毎週休まず通つた成果が今回このような素晴らしい形で残せたことを嬉しく思います。これまで指導して戴いた先生にとても感謝しています。有難うございました。

**支部長先生より一言** 物静かな南君は実はラグビーの選手。内に秘めた気魄は力強さになって文字にも表わされています。

### 特待生になつて



練馬支部 中三  
高瀬友理

小学四年生の頃から習字を習つてきて特待生という大きな目標を達成できることをとても嬉しく思います。ここまでご指導くださった松岡先生に感謝すると共に、自分自身を更に成長させていくように頑張りたいです。

**支部長先生より一言** 毛筆と硬筆の合格おめでとうございます。文武両道の落ち着いた姿勢は、後輩達の良き手本です。

### 感謝



田中葵  
若竹支部 中三

9歳で書道を始めた時から目標としていた特待生になることができてとても嬉しいです。それと同時に家族、先生方にも感謝です。これからも虎井暁鐘先生を目標としてがんばりたいと思います。

**支部長先生より一言** 合格おめでとう。忙しい中休まず頑張りましたね。さすがです!!虎井先生も喜んでいますよ。

### 文字と向き合う



青雲支部 中二  
小原一葉

小学二年生から始めた習字。文字をじっくり考えながら書くと心が落ち着きます。中学に入り、部活との両立は大変ですが、静かに文字と向き合う時間は大切な時間です。これからも習字を楽しみたいと思います。

**支部長先生より一言** おめでとう。部活と両立させています。続いている一葉さん。妹優子さんのよいお手本で

### 感謝



富士見支部 中二  
宮岡健士郎

僕は、野球をやりながら、習字も習っていました。今回、特待生になれたのは、親と先生のおかげだと思っています。親と先生には、すごく感謝しています。この感謝の気持ちを忘れずに、今後生活していくたいです。

**支部長先生より一言** 特待生合格おめでとう!!野球で忙しい中、両親の協力と努力の結果です。更なる飛躍を期待します。

### 特待生合格



練馬支部 中三  
矢野ことり

今回特待生になることができたのは、先生がこれで優しく丁寧に教えて下さったからです。本当にありがとうございます。これからも頑張ります。

**支部長先生より一言** 合格おめでとう。休むことなく継続した結果ですね。毛筆合格まであと少し、一緒に頑張りましょう。

### 特待生になつて



若葉支部 中三  
長山莉緒

今回、毛筆の方で特待生になることができて、頑張ってよかったです。私は左利きで、習字を始めた頃は大変でした。それでも、お稽古を続け、この結果があり、とてもうれしく思います。

**支部長先生より一言** 莉緒ちゃん、合格おめでとう。あとに続く左利きさんに勇気と希望を与える合格です。この調子で。

### 努力



伊奈支部 中二  
茂呂和奏

私は今回、初めて硬筆で特待生になることができました。特待生になることは毎週指導している先生のおかげだと思います。ありがとうございます。このまま毛筆も今年中に特待生合格したいです。

**支部長先生より一言** 硬筆合格おめでとう!!コツコツ積み重ねてきた努力の証です。を目指せ二冠、一緒に頑張りましょう。

### 感謝



伊奈支部 中二  
上林舞衣

私は今回、初めて硬筆で特待生になることができました。特待生になることは毎週指導している先生のおかげだと思います。ありがとうございます。このまま毛筆も今年中に特待生合格したいです。

**支部長先生より一言** 硬筆合格おめでとう!!コツコツ

今月の優秀作品



△漢字条幅▽ 評 山口 啓山

評 柳澤 玄嶽

日暮天無雲

王山

日暮天無雲

董文定

日暮天無雲

董文定

日暮天無雲

董文定

日暮天無雲

董文定

日暮天無雲

董文定

日暮天無雲

董文定

陽平縣令衛安族董文定

魯郡士望等孔文僖

董文定

陽平縣令衛安族董文定

魯郡士望等孔文僖

董文定

陽平縣令衛安族董文定

魯郡士望等孔文僖

董文定

寒月逐波流

董文定

置身秦漢」

董文定

日暮天無雲

董文定

△漢字条幅▽ 評 林田翠山

評 鳴塙壘玉

評 関澤劍山

評 竹野翠紗

評 菊地惠爽

評 珠 悠

評 齋藤優月

評 藤澤竹虹

評 金子葉蕉

△通信条幅▽ 評 三沢泰仙

評 渡辺秀心

安定した造形と点画の張りが冴える。

筆勢に富んで全体に緊張感が漲る。

墨量充分で豊かなムードで圧倒。

五文字の調和が実に良く落ち着きあり。

心地良いリズムで一氣呵成に仕上げた。

下平成苑 基本に忠実で緻密な写実性が抜群。

五條幅隨意 落ち着きあり。

軽快なりズムの中にも強さを感じる作品。

含墨豊かに重厚な線で落ち着きのある作。

墨量、骨力充分で氣力の充実した作品。

形の安定感は流石。落款も良い。

線質に雅味あり安定した作品となつた。

細線が琴線のように響き、筆の開閉を会得した。

基本課題

評 中村 巍山

# 詩成儀

雪月 杏耕

余寒立春浅春啓蟄  
陽春温暖清明新綠  
若葉薄暮初夏入梅

初春の候 厳寒のひさり  
余寒立春浅春啓蟄  
陽春温暖清明新綠  
若葉薄暮初夏入梅

# 詩成儀

雪月 佐年

初春の候 厳寒のひさり  
余寒立春浅春啓蟄  
陽春温暖清明新綠  
若葉薄暮初夏入梅

# 詩成儀

雪月 美佐子

初春の候 厳寒のひさり  
余寒立春浅春啓蟄  
陽春温暖清明新綠  
若葉薄暮初夏入梅

# 詩成儀

雪月 岩山

初春の候 厳寒のひさり  
余寒立春浅春啓蟄  
陽春温暖清明新綠  
若葉薄暮初夏入梅

杏 静 手本に忠実で骨力もあってみごとな作。  
統 華 のびのある線で清々しさを感じる。  
美 佐 子 大胆な運筆で躍动感あり。重厚な作。  
賢 山 淡々とした作で、優雅な雰囲気がよい。

研究課題

評 竹内 墨洋

島村霞菖 行意のよく効いた躍动感が目を引く快作。  
関 窓真 懐抱的な文字構成で広がりのある表現。  
浅井菖風 左右のバランスよく、安定した行書作品。  
塚原花瑠 字形よく全体の配字が特にすばらしい。

古典課題

評 内藤 望山

青木小琴 太めの線で多字数を統一した努力作。

佐藤京香 線に主觀を加え、細太遅速で立体化した。  
天谷茜草 原帖の形に自由な躍动感を加え楽しい作。

上條恵香 形体に主觀を加え、筆力と強さを發揮。

師範部

△行 書▽

評 柳澤 玄嶽

小柳貞松 洗練された行書の風格と氣力共に佳。  
日比野照悦 線に主觀を加え、細太遅速で立体化した。

小暮靜翠 流れは明朗快活、温順さと折り目有り佳。  
菅野羊里 清冽で伸びやかな線 甘いムードも漂う。

高保田麗香 蔵峰が効いた無理の無い運筆格調高し。  
石沢秀庭 流麗な線と爽快さ溢れる作。余白美も佳。

加藤穆舟 正確な字形把握 弾力と没味有る力作。  
伸びやかで強い線質。氣力溢れる佳作。

田島 淳仙	腕法良く、骨力に溢れ大胆な運筆大佳。
山本 汐香	写実的で点画の余白も明るく格調高し。
河田 邦楓	抑揚豊かで味わいのある線、構成も見事。
佐藤 尚山	素直な筆遣いで、リズ感良くまとめた。
馬場 采葉	日頃の精進が窺える流麗で安定感有る作。
柳沼 秀光	用筆法が巧みで、基本に忠実な秀作。
古川 琢光	含量豊かにして重厚な作に仕上げた。
中田 秀麗	力味なく自然な運筆の中に魅力あり。
玉井 麻子	開き気味の筆を上手に操り、骨力よし。
嵯峨我山	腕法に力があり、文字の大小表現も大佳。
桑野 小秀	自由自在な筆遣いで、行立てが美しい。
平野 重子	運筆に貫通力があり、全体觀も秀逸。
西村 宏美	基本的に忠実な筆運びが魅力的な作品。
井上 悠水	このレベルで書いてほしいという典型作。
折笠 瑞羽	細太や墨色の変化など、見事な作品。
森島 美光	線表現が豊かで、心魅かれる美しさあり。
中野 恵	一貫した線の太さが全体をまとめている。
川田 麗	小筆の性能を十分に發揮し、骨力十分。

△假名▽

評 萩田 光山

学 生 部

評 寺尾 碩雲

田辺千尋 文字の大きさ、字形、位置とも良い。

山岸ふわり 起筆がきれいで、字形も躍動している。

藤崎茉莉花 トメ、ハネ、払いが美しい字形です。

大矢裕翔 大胆な書きぶりで、名前も大変うまい。

大矢有紀 紙面いっぱいに、堂々と力強く書けた。

菊地七海 伸びやかな線で、字の形も上手だ。

佐方優仁 筆の動きが雄大で、字形も良い。

小椋夏恋 筆使いが軽快で、さわやかにまとめた。

尾川一花 勢いのある線「い」の字が特に良い。

上島千歩 真面目な書きぶりが伝わってきて良い。

森田陽人 ひらがなど名前がとても上手に書けた。

林 千佳 のびのびと書けた。字形もうまい。

小林なお 力強く書き上げた。名前も上手です。

谷口明里 集中して、一点一画しつかり書けた。

梅寄友結 筆を立てて、きちんと書きあげました。

古谷かいと 子どもらしくのびのびと書けました。

北田けんご 大きく、りっぱにかけました。

半紙隨意

評 芦川 臨泉

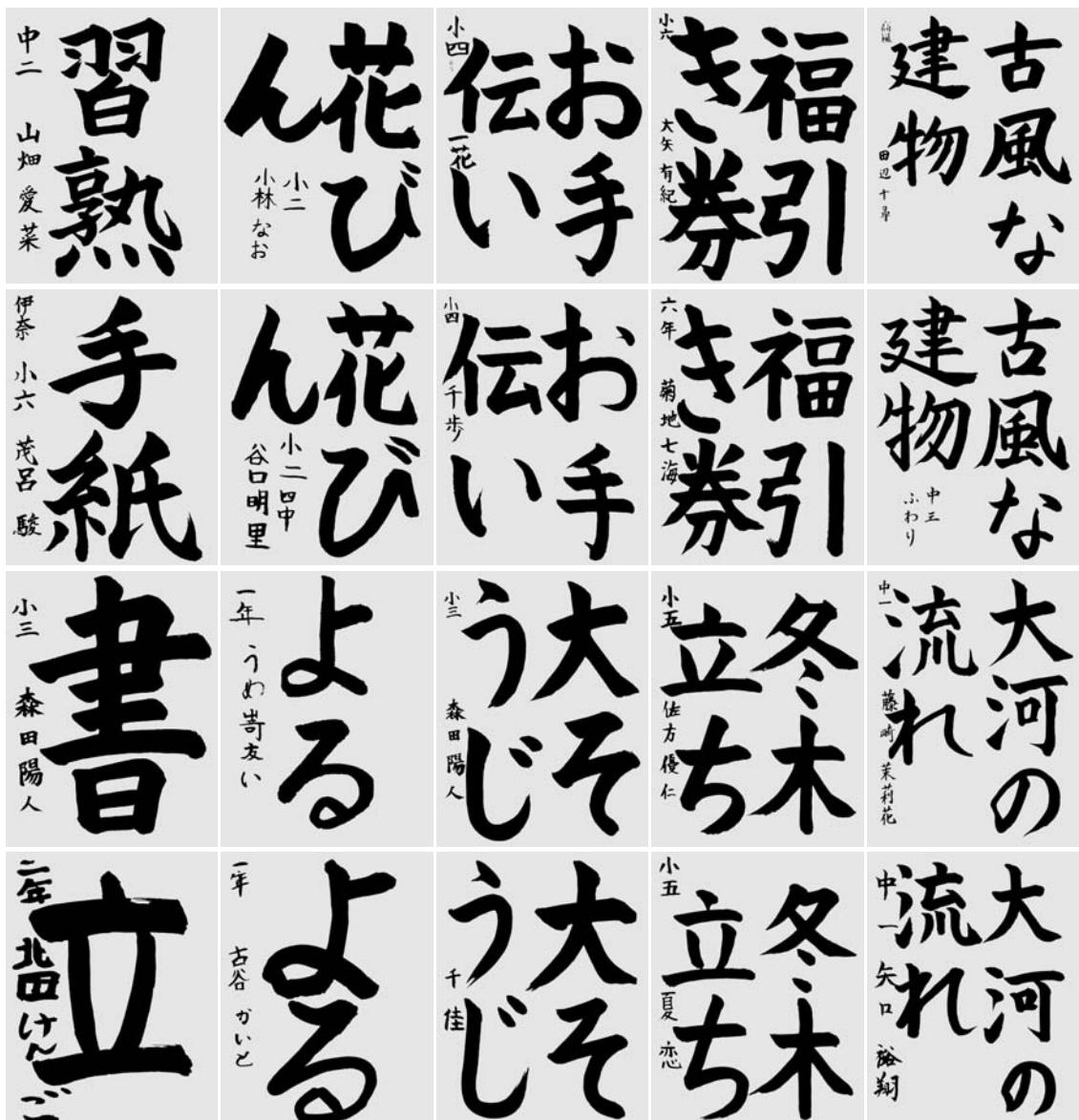
山畠愛菜 一点一画おろそかにせず堂々とした作品。

茂呂 駿 始筆、送筆、終筆がしっかりとした作品。

森田陽人 太く、紙いっぱいに力強く書けました。

北田けんご 大きく、りっぱにかけました。

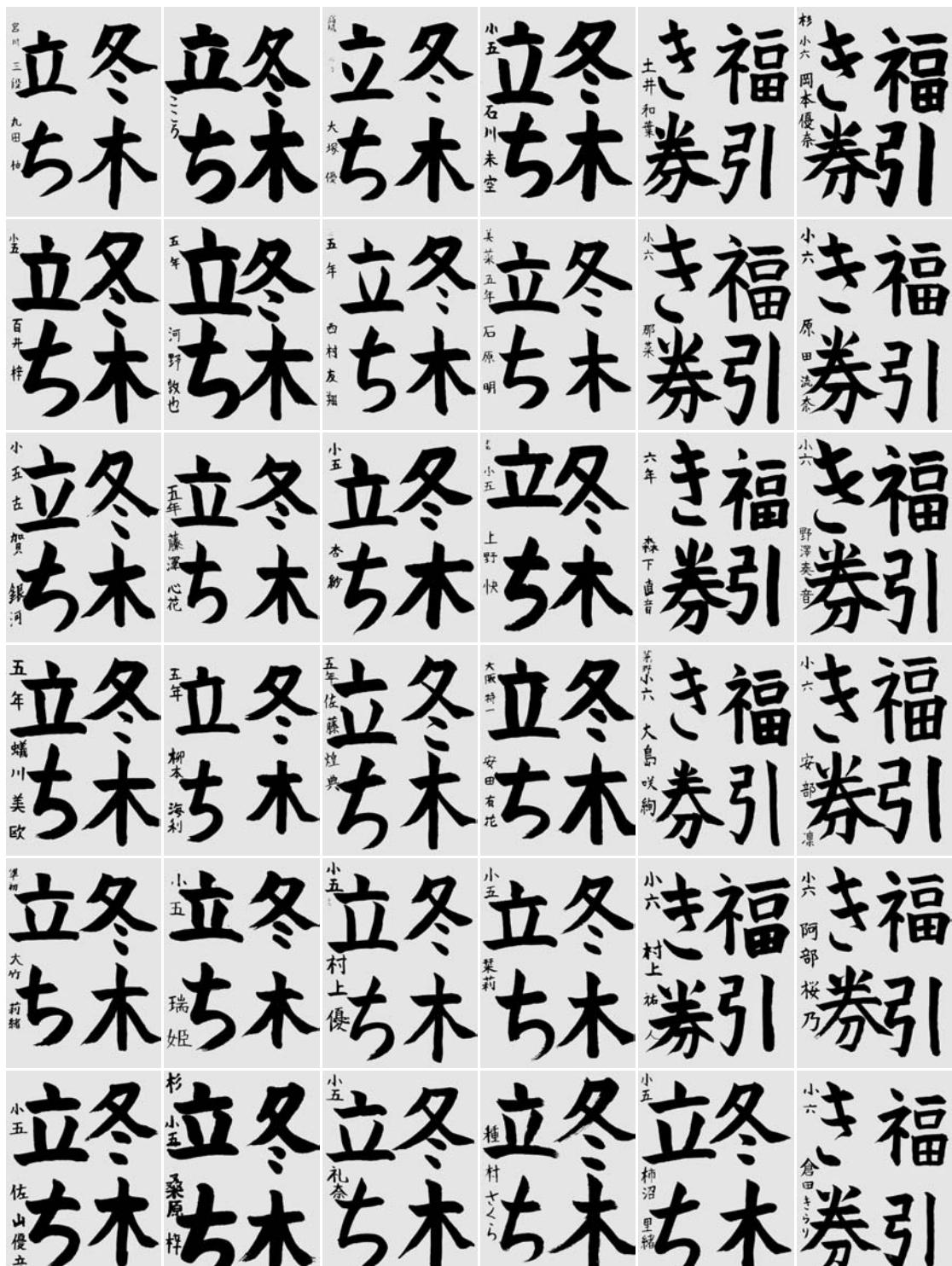
このページに掲載された人には書象会より記念の  
筆をさし上げます。



美杜高級	珠文高靜	櫻八光段	〔假	小光名光大ひ皓游若北	〔段	秀聖
菜會風東	那悠化風	潮丘位	名	光丘東丘象ま花墨松府	〔級	大阪象
笠原澤田津	スミス	奥安岩佐尾中友		成杉一光笠神書泉東根	〔行	曉月
浩惠倭伸	璃枝乃	美乃里芳美和		城繪丘原龍東根	〔位	秀雪
代子歌子	由貴子	枝乃歌美桜優恵		藤平後藤田翔珠	〔書	宮下

小六 希果 福引 き券	六年 水上 爰理 福引 き券	六年 梨子田 苛 福引 き券	小六 富岡 愛 福引 き券	小六 田谷 優羽 福引 き券	小六 天倉 唯花 福引 き券	新城 まゆ 小六 伊藤 淩 福引 き券	六年 服部 美吟 福引 き券
古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物
中二 松下 遥香 春山 透輝	中二 阿部 ののか 津川 宇佐美 初心美	中二 伊奈 舞衣 井上 松井菜実	中二 咲李 澄恋	中二 岸田 悠 石橋 天利心優	中二 久吉 石井 菊花 中三 上林 森井 阿部の 美苑 近藤 高橋 遙 喜奈 松井 澄恋	中二 毛筆 伊藤 澄恋 正桂 陽菜 初心美	中二 毛筆 伊藤 澄恋 正桂 陽菜 初心美
大河の 流れ	大河の 流れ	大河の 流れ	大河の 流れ	大河の 流れ	大河の 流れ	大河の 流れ	大河の 流れ
中一 樋口葵 陳晰	中一 杉田碧 越田碧	中一 石橋 江波 瀬波 満穂	中一 開耶 彩歩	中一 岸田 悠 石橋 天利心優	中一 岸田 悠 石橋 天利心優	中一 岸田 悠 石橋 天利心優	中一 岸田 悠 石橋 天利心優
古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物
中三 聖山 久喜 高仙 伊奈	中二 阿部 ののか 津川 宇佐美 初心美	中二 伊奈 舞衣 井上 松井菜実	中二 咲李 澄恋	中二 岸田 悠 石橋 天利心優	中二 久吉 石井 菊花 中三 上林 森井 阿部の 美苑 近藤 高橋 遙 喜奈 松井 澄恋	中二 毛筆 伊藤 澄恋 正桂 陽菜 初心美	中二 毛筆 伊藤 澄恋 正桂 陽菜 初心美
古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物	古風な 建物
中二 名東 正桂 高仙 伊奈	中二 阿部 ののか 津川 宇佐美 初心美	中二 伊奈 舞衣 井上 松井菜実	中二 咲李 澄恋	中二 岸田 悠 石橋 天利心優	中二 久吉 石井 菊花 中三 上林 森井 阿部の 美苑 近藤 高橋 遙 喜奈 松井 澄恋	中二 毛筆 伊藤 澄恋 正桂 陽菜 初心美	中二 毛筆 伊藤 澄恋 正桂 陽菜 初心美

[毛筆] 中二・三  
 大新愛玄飯倭光映優竹華神山小丘雪光聲野雪社高台名月仙寶土千宇富硯扇  
 田城心默山丘心生華雪奈愛六丘雪光聲野雪社高台名月仙寶土千宇富硯扇  
 伊澤石高樋谷崎天飯堀越陳四條岸田園川  
 服伊佐富岡梨子田柴原明安蒜天倉小野山渥田紀伊東田橋橋口崎利島  
 部藤藤三上明日香唯優優羽乃理花  
 美吟凜寧彩桜茜希果日唯優羽乃理花  
 美吟凜寧彩桜茜希果日唯優羽乃理花



小五  
さわ

石峯 有穂	この	高社 八潮	杉源	綾華	湊硯	床知	秀雪	平成	若松	高風	珠紅	月	大阪府	北府	練馬	竹華	秀野	茅花	皓花	野中	象大	竹若	杉鏡
大蟻 佐山	古賀	井川	丸桑	柳原	藤六	河野	伊村	佐藤	池田	西村	大塚	安田	石原	石川	森下	大島	土田	村上	大島	阿部	原田	岡本	
利陽	莉奏	美銀	歐河	梓柚	瑞姬	心敦也	利奈	翔友	杏紗	輝典	優	かの	未空	里緒	直音	和葉	凜	那菜	人祐	流奈	奈優		



一 えん いぶき	よ る	ん 花 び	う だ じ そ	う だ じ そ	だ そ
小 一 まき	よ る	ん 花 び	う だ じ そ	う だ じ そ	だ そ
土 ひな	よ る	ん 花 び	う だ じ そ	う だ じ そ	だ そ
小 一 石 井 み 月	よ る	ん 花 び	う だ じ そ	う だ じ そ	だ そ
六 上 よ う こ	よ る	ん 花 び	う だ じ そ	う だ じ そ	だ そ
小 一 か れ ん	よ る	ん 花 び	う だ じ そ	う だ じ そ	だ そ

有芙蓉光有山千皓有象  
 穂二雪丘虹愛曲  
 内藤石古俊風藤川牛廣瀨  
 華耀都陽麻維真綾詩  
 蓮子月菜希吹若葉

若皓光華秀中霞墨  
 宮花丘雪野之春雲新山  
 千葉呂東渡邊瀧奈良  
 今井蓮尾連寬紗英杏  
 田畑ひめか結柚香颯奈  
 都彩杏心翔琳一奈花

〔小二〕  
 一葉 大虹竹溪皓花龍文  
 藏阪苑華月繪李光山愛  
 牧野池樺屋村河野加藤  
 川内市瀬莉佳薄井高品  
 河野市瀬莉佳鈴木羽石  
 廣瀨山口楠原うたの  
 奈良瀧口都建人栗原  
 善利美音斗佳美音奈  
 順美溫音奈々美音奈  
 善利佳美音奈々美音

冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>三井陽菜 楠谷圭介</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>高田健吾 増田健吾</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>西口乃々花</small>
一つの芸術品の觀察は、やがておはがき等うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。
香林	香林	香林

冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>川口葵香</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>高田健吾 増田健吾</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>川口葵香</small>
うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。
香林	香林	香林

冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>坂田こころ 成田しおり</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>高田健吾 增田健吾</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>坂田こころ 成田しおり</small>
うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。
香林	香林	香林

冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>井伊彩月 美那志穂</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>高田健吾 增田健吾</small>	冬至の日、風呂の湯にユズを浮かべる。これに入れば無病息災と伝えられる。 <small>井伊彩月 美那志穂</small>
うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。	うなふす中で最も明るい最も深い また最も豊かな傳承である。
香林	香林	香林

倭	倭	倭
高社	高社	高社
玄撲	玄撲	玄撲
大阪	大阪	大阪
廣中	廣中	廣中
華雪	華雪	華雪
美那	美那	美那
たけ	たけ	たけ
有象	有象	有象
大象	大象	大象
露心	露心	露心
山愛	山愛	山愛
清水	清水	清水
塩谷	塩谷	塩谷
萩島	萩島	萩島
若松	若松	若松
若松	若松	若松
練馬	練馬	練馬
北府	北府	北府
石峯	石峯	石峯
青木	青木	青木
神澤	神澤	神澤
安娜	安娜	安娜
志穂	志穂	志穂

第771回  
競成績

□写真版  
☆秀作  
○昇級

樂霞岡柏宝自一右湊中東	欢墨霞大	玄上	上西	玄硯霧富四一長玄乙玄吉志上玄杉大玄静平巍	師行師範書
書墨谷心春彦文	野陽	森洋墨象	黙尾里	黙訪貴谷絵翠巒訓耀都摩里成	象黙樸翠成山
秀秀秀	秀秀秀	秀秀	秀秀秀	秀秀秀	秀秀秀
澄夕通採寶和李松皓榮祥効佳千雪馨禾齐光賴天五康陽陽茜天心真立俊圭秀誘采尚耀邦沋濤穆秀麗光芊靜照貞	範書	範	範	範	範
江霞明舟春春風菜草香已紅山蓮波霞秀苑花帆山性福仙理映沙意燈理子瑛朋光葉山楓楓香仙舟庭香紗里翠悅松					
志産新土蒼					
富房汀沙書小伊龍小玄右八奈	玄杉瀬	巍倭巍長頑八國	玄大有	文小童靜榉一宮	產瀬
貴風松羅集平奈文平心文南華	樓戸	山山翠雲潮府	黙阪象	化光森絵地	吉戸
秀秀秀	秀秀	秀秀	秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀	秀秀	秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀
奏高麻花菖董天明春天順清愛芳菜映杠勇稍江淳	純小靜白霞佐小綠佑泰兔鶴玄順波夢蘭曉光靜小惠笙茫秋陶美恭	里	夕	麗夜	
風苑菜仙風藍虹笛海澄子羊鈴月子雪華峯陽蕙子華楓草羽泉美子水山光雄月苑虛道玉橋節麗虹霞江幸琴爽仙苑麗華影					
榉					
笠一珠藏茅磯雅皓柏高笠長美華	葉秀青平士若游美衫	映國產蒲美游長松京游	房		
森原嶽路紅野辺花芳鳳原野菜雪	月雪雲成筆竹墨墨	心府吉田苑墨寿南都墨	風		
秀秀秀	秀秀	秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀	秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀	秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀	秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀
光泰湖泰文双李翠華芳詠智珠梅志峰葉雅皓我紳憲安文靜華華壺和美惠竹雅並太美哲明映暎景秀典真文壽朝佳禮大壺聽	奈利				
水芯亭舟子葉葉葉葉葉李園遊秀豊弦草染雲山光花芸靜唱明穂凌水子果虹子沙一光子芳光華草娘子弓界敬花惠光翠桜月					
大阪象玖象化苑光池	城	長上淺雅若皓書飯玄	野尾間	松花之田樸	
萌珠花比有麗祥麗千節京麗節麗久麗泉秀爽里光小光渓ラ邀蘭曉煌恭明尚翠い翠翠輝翠靜鳳靜皓康祥雅蕙皓蕙成香	溥	秀秀秀秀秀秀秀秀秀			
玉松庭彩美吟節扇節真節陽麗玉節節美爽秋月節香惠攝搖風ミ月庭汀扁月成月真み雅紗香桐鶴吟琳靜清映春香花翠苑琳					
相秀花長信長美中美華葉月	美樂生書				
興雪象野大野那勢菜雪					
た泉秀翠靜靜秀富靜溪靜恒玉杏靜晃梓絵霽桂桂霽華華華奧華華華華芳啓真ま美三百善弘琴知愛裕江靜玲惠靜美君小蓮晨幸司珠か					
ね志水花邦澄華靜淑苑千靜靜映靜虹靜峰耀舞彩楓慧蓉遊泉孫慈桜聲駿子子子子行子一子三真子靜靜敬奈子恵静子翠堤英泉峰悠		佐す智合			美
霞大自八美磯光北照茅北珠成嵐芙蓉若藏笠照土玄土静一珠若藏玄平竹大静	墨象座南生辺丘府澤野府紅城山容駒原澤筆成筆路紅松成成華阪				
湖晨溪圭水西美心祥晨晨葉葉葉葉政仙凌玲頌伶友雅嘉照曉正美千厚代隼珠こ珠光彌明真梅泰照絵祥陵啓静花良珠か肇梅朴明理敬遊					
妻玄笠美青麗湊榉中東東右國源苑櫻八	若				
科嶽原二雲墨森野陽文府創森戸竹					
惜春春子洮美蕙広泰泰春泰泰春み純瑞紅妙晨暁華素優哲涼穗鐘千江江敦梢恒邑澄美豪聖星文天廣英惠素春椿耕樟					
加ち磯領サ瀬巍八	若				
春清瑤鳳葉雪葉姫慶邦袖扇昂子穹桂城松咲子彩竹川仙秀玉遙風華山香華栄苑惠翠子琴子峯子峰紅嶽妙山遠星州光泉月光月					
玄雅大産香皓須磯領サ瀬巍八	玄	杉飯			
心泉吉花坂辺雲ノ戸山	心	樸			
珀和一和雅萌琴禎藤景み翔祥智智葉葉葉葉葉葉葉葉真詠友草喜竹典五苑雨茜蕙青晨小美夕め柚晶綠春李燁荷芝快煌紅採完					
舟雄幸夫香泉月子光る子花燐洲真恭壽悠梢暁勳崇徑桂苑靜舟梅竹春心子代心香英影沙雪映杏紅み香山風里雪山玉華泉風心流花頃					
寿龍小伊静水花飯沙書富國美房汀花笠大和柏若書高青高宮之風雲風	台文平奈象代象山羅集士府五風松苑原手芳				
訪昭木か寿静隆祥藤惠綾谿谿朝谿雨秋和美景里尚汀壇史明由旭絹惠泰美宏泰久光孝靜彩己梗梗翠蒼千い祥白清真雅成					
彩お美美	津	ち	由		
泉子華る汀成雪月花子羊山暉彩芳祥子峰虹代子仙仙奈子霄登代美子美子空亭惠伯壇惠風子江雲芳紗幸風雪子仙葉風美子美					
東八柵八蒼須乙晏玄笠飯巍樂正長游房玄南岐	春八六八根潮友潮穹坂訓墨樸原田山書桂翠墨風心墨阜鳳南鄉南				
紅由逕瑞寿妍妍秀智智青佳京京泰嶺桂か泰泰彩成玉菁伊清溪信茜霞松晴汀花優暁紀最響孝由泉友征壇青玄南孝礼美春冬昭啓					
り登	佐	知			
雪紀月逕月龍象麗翠祥葵扇琴仙慧花春ん蕙恭薰乃華蘊翠子茜茜翠草舟菖沙沙心峰美貌光光翠光梢子光玉泉穂子岳子子鳳雅惠風					
土名倚港上静港上神竹茜石宮玄サバード桐惠静東淺霧浅梶星柏土沙碩八曜雲南里南里奈友峯川黙後生川光間訪間友					
蘭敦光蕉陽静窓玲窓濤陽標テ谿洋彰瑤祐旭大清薰美ハ菖秀壽惠道ふ健愛湖幹皇李琇蓉韶花度徑綾華洞翰硯芳鈴千武壯多欽輝倉					
ツナミみ喜喜					
月子瑠苑松香真窓心山秀泉子沙一月月貴蓉我天舟コ柏翠泉彩峰子え夫光泉雨子香峯光泉逕山石子峰舟舟舟華羊浩一子造子子					
八大映泰白柏覩國白靜宝綾自玄瑞一梢聖久湊麗志産新八奈惠樸南淀心野岡心府山翠春華産耀祥絵川喜墨摩吉城南華川森					
春秀映珠映芳朋鹿詔蓮楠覩峯照み裕照絵久淡滿名名名名名名は礼泰瑞惠花富桜汀琴道楊涼香渟青萌雪永晴希悦勵善裕杏暉					
ど梨智る紀					
信翠祥岐笙月泉聲次舟舟心山節り美美子恵愁子琴柏志紗芳扇洗み子泉穗由瑠子嵐茜紅羽幸舟華苑花園松禾川実美紀紅子子子果山					
長紅松愛京松桜上唯京神玄有上国珠玄東新墨蒼富玄遊松巍美寿竹南北都南森都尾心都黙象尾府悠默和城心穹貴默戸山苑墨					
寿寿美絵信明寿美邦津良照和典悠禮弦彩志溥枸康聰雅賢整越加康康景知南直彩陽翠菖理重天壺藍藍陽千喜華章遊久江沙照音厚					
香鳳里里楓美雅楓子楓鈴代楓楓子照楓苑山楓蟹子幸山子山代沙惠泉子花子香江溪月花子栄晶月花夫川香景照咲英敬嘉子茜桜子					

神華静長笠土碩松若高笠美若平	土月華葉長備京四野杉文高笠玄秀土 龍雪 野原筆雲戸竹風原二松成 筆 雪月野後都谷辺 化風原嶽心雪筆秀 秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀 祥華麻ゆ由和さ祥明真雅盛由信咲飛君華敏ま菖 恵淳蘭節高き清了美紗 り貴 お ゆ 惠美 み 也 出 か 以 く 星聖子絵美り子音菜子一紀一依悌子詠子み佑 子子光舟月子実瑛祐加	新杉虹大心 〃〃〃新白産 〃〃〃蒲 〃〃〃美倚游 准城 友象和 城岡 吉 田 菩雲墨 節範 日友響雲益した香敦佐春清浩文さ玲知沙沙沙順游寿寺 沙美山峯亭子織子子扇桃光子子ら笙子蘭泉雪春子恵雅星
楽』杉映』笠妻玄蔵平信』静倚春文小書高產青』磯玄京遊麗源倭富小柏静志 心 原科嶽 成大 雲玖化光之風吉雲 邊模都墨墨創 貴光芳 穩摩師仮友代森野 貴光橋 秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀 晴採秀映湖泰惜文惠照梓盈遊順京麗光蕙憐琴竹葉葉 美琴悠宏重小我麻秀沙 麗惠 範名と佳弘千直幾京友凜珠閑春誠親実宏靖里晶継久 沙花庭室桂春子香悦虹月心子節節惠翠花月虹蕉徑 光羽水美子琇山子麗香 枝子美佳子与子樹玉久雲幸子夫穂美子和子舟子	『樺大 〃〃〃柏サ岡惠桐』上』浅晏玄茜大玄房』玄八神伊静小房水』富瑞書巍倭樺京產本上花長房』巍 森象 心ン谷川生 里 間墨模 象成風 黙南奈奈 平風代 貴洋集山 森都吉庄里象野風』山 秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀秀 惠劍英彩天光文小佳素星豪美探鹿芳 綾華美通惠秀涛陽誘蓉泰統茜麗穆天禾光希憲か秀杠壺峰壺蓋名谿霞緑溥弦茫桂陽翠秀壺小翠 星山遠紅妙水嶽琴蓮州紅峰水舟聲舟 予峰舟明彩翠仙映峯光慧華沙香舟翠苑紗紅泉る峰華桜雪藍月柏暉菖水山照苑秀理花華登映山	『東竹南土岐八春 六』石 〃〃〃玄東』玄右』上静 〃〃〃港』乙』右静』大』霞 〃〃〃若』備 〃〃〃 光友墨曜阜南鳳 郷 峰 黙和 心文 里 南 訓 文山 象 墨 竹 後
幹禮道テ南蘭孝冬春美昭彰瑤洋頼越五天斎心天薰旭大直勇玄梢濤陽静窓蕉窓玲青京千松梢佳西馨溪雪夕憧耕憧太貞冠鐘菖菖八哲涼 ツ 知 雨子子岳月子雅凰子惠月一山山福性花燈意禾蓉我子峯穗陽山松香真苑心窓葵琴春菜琴鳳光秀霞霞月山泉一月泉仙佑彌コ山香 巍 〃〃〃書』巍 〃〃〃瑞 〃〃〃志瀬 〃〃〃富 〃〃柏 〃玄玄綾玄』綾樺龍伊小』八樺八』樺八 〃〃〃浅 山 集 山 祥 摩戸 貴 心 樺燭華燭 華森文奈平 潮友潮 友 南 間	小谿谿谿朝谿雨愛茜溪名壽名香楊聽雪濤道竹華天藍明千喜陽蓮翰楠綠李春孝久満照繪優映菜木寿逕瑞兔處花江啓祥韶李愛湖 夜 次 智 梨 々 子山彩芳様子峰虹鉛英茜扇忠蕊芳苑舟月園花幸心英虹花川笛照咲景舟舟風雪里郎恵子美子華雪子華月月逕月山逕蕙風映泉香光泉 京樺 〃中大』房 〃水 〃自 〃玄若乙』寿東』富大』乙茜硯』霧硯星 〃玄 〃神 〃東中樺 〃〃〃玄 〃〃〃巍樂巍樂 都森 野象 風象 代 産 燭竹訓 台根 土内 訓 訪 樺 陽野森 樺 山書山書 雅素春鐘圭青壺寿靜祥隆淡と燭清京京訪昭紅と秋す佳尚谿真皇立硯徑燭香芝賢整祥江千江榮閣桂美夕柚晶小半恭蕙美雨茜松清澄 幸風幸栄苑泉玉汀成月雪愁春楓人月仙泉子雪子代枝扇山沙理子心石山琳華山子己惠苑翠香雲花春杏紅香山楓里影寵香草沙茜江 杉 〃映 〃巍 〃〃〃奈花土 〃〃〃京 〃游樺 〃游 〃松 〃蒲座八 〃美 〃〃美 〃游 〃美 〃苑自白国静 心 山 華苑曜 都 墓森 墓 南 田吉南 墓 華 墓 生 産山府翠 浩陽静初映青佐裕善淳悦勵惠鈴紀絢良津照信邦和佳典邦悠禮彩泉由暉征文 志朝典文秀春照哲沙沙沙禮友蓮晨美澄心照峯静美 厚 惠 美子章泉芳祥沙美子子子子子華子楓楓楓鈴楓子代惠楓楓楓子楓梢光山界 苑花子子娥信子子春雪泉桜光子堤英子子快節山翠楓 雅 〃〃〃董書 〃〃〃高 〃飯 〃京蒲 〃〃〃聖 〃〃〃湊久巍 〃宝曉源櫛 〃一 〃映杉サ 〃〃〃瀬 〃〃〃巍 之 風 田 都田 喜山 春月創川 絵 心 〃〃〃戸 山 雅翠翠静輝翠祥清蒼白成玉明寿玲花碧富恵典惠季汀華皓汀妙晨美江寶裕曉邑泰秀惠映珠明詠五友草陶典喜白苑伊信霞晨霞 登 紀美 香真紗雅江香幸光仙風葉苑華蘊美雅笙瑠瑠子子由翠紅通草茜仙秀玉子茜春美蓮峯泉光爽華岐光舟代梅竹華子春羽心子翠泉雪舟 静 〃〃〃沙 花惠 〃産土愛紅 〃白國 〃正 〃〃長碩四華 〃葉 〃〃〃北美 〃〃〃華飯 〃〃 笠 〃青光 〃〃 羅 象川 吉曜心竹 岡府 桂 翠雲谷雪 月 府菜 雪田 原 雲丘 君美静静玲惠靜綾千清真藤杏高秋青壯繪美玉朋香景花優咲夙紀孝真光華美三悠代千厚闊霽華華奧華華華華廣安泰純千政雅雅 美 理 音 智 子靜惠敬奈子幸羊羊子花果苑麗松山里里泉扇草峰美光光翠靜瑛芯子行翠子景子子楓慧遊泉凌琇穗聲桜翠姫芸慶邦彩雪一染春 春 〃〃〃有 〃〃〃珠藏 〃平 〃〃〃茅若 〃藏一虹嵐巍美 〃柏 〃若 〃葉長 〃中美 〃〃〃長 〃〃葉静 〃〃〃長 玖 象 紅 成 野駒 路苑山山容 芳 宮 月野 勢菜 野 月 野 千祥花比麗加良珠こか珠梅明雅曉美志峰正真梅梅智リ弥貞明彩己梗梗真美まゆ桂桂霽晃静溪恒玉静态百善和静風静恭靜文靜富小 すほ 惠 佐奈すり 合 節節庭彩吟代龍える杏清桜子道子豊弦純花惠秀園香生松惠雲芳紗華子子子耀舞彩静唱苑千靜靜映斎子一子鶴吟琳光邦靜澄翠 墨 〃杉 〃〃〃葉 〃蒼 〃國 〃芙 〃房 〃汀 〃〃〃新墨 〃蒼遊宮松 〃新正若 〃北有珠國 〃〃〃上 〃〃〃大有 洋 月 穩 五 風 松 城心 穹 地戸 城桂松 城桂松 府穗悠府 尾 阪象 千蘭邀曉弘琴知壺芳啓理妍妍鶴美景里尚汀春明由順絹敦彩晴佐永摩香翠菖菖遊笙久雪麻汀肇寂仙穂知景康康康珠敬玻珠萌有節 美 以 美 里 波庭月汀子三真水子子花龍象苑仙仙奈子霄海美子子子香美子子実紀織溪月風嘉仙子川菜心子翠翠波子泉沙仙蠻惠清松玉悠玉美真 須 〃〃〃笠董 〃〃〃皓 〃〃〃北長 〃〃〃静玄象 〃土若 〃〃笠 〃妻玄樂 〃玄美笠 〃照 〃〃〃磯成靜 〃小 〃〃〃文 坂 原 花 府野 成月 筆松 原 科嶽書 嶽那原 澤 迂城 光 化 智文泰彩泰翠皓翔景祥隼凌頌玲友伶雅靜裕江優祥洋陵啓由泰和泰春双幸李洗華霽泰照映葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉 悠扇袖松乃恭桐花雲子光花山翠山翠美那美淑靜靜月苑子光光紀穹美城清瑠葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉葉 若志八花 〃産美美宵有玄東虹玄綾中大若柏有玄書玄高美長 莖大長珠 〃〃笠磯 〃〃〃〃笠大 〃香 〃相美青 〃玄 〃〃〃 竹摩南苑 吉苑生月象樸陽友燭華野象竹心象樸集燭南風二野準 手野紅 原辺 原泉 興二雲 嶽 憧憬和眞す昭清真晨俊歌め敦響親友鐘夏 級麗か和誠江高盛ま範い光絵珠泰泰葉泰泰久泰泰美宏萌植藤た泉み瑞芳湖詠智智智 知み 紀 舞 り ゆ づ か ち 光子子子光弓玉子節み子山夫子雪希 舟扇ん子子水月一み み風静遊空咲帛濤薰舟惠蕙葦亭芯患泉子子ね志子竹葉葉李祥洲真寿	— 41 —



高游〃〃新 風墨	北長信若大〃〃桜珠高巍玄〃巍石静書文若文飯大長土玄大藏魏大桜 府野大竹象 森紅風山樸 山峯 集化竹化田象翠曜心阪 山象森	古 典 研 究	白高青〃飯巍硯霞八若玄桜磯大靜産 山風雲 田山 墓潮竹樸森辺阪 吉
小周麻佐永 林藤里以 真文菜子実	隼映梓冠西素師文珠白小春佐霞瑠秀雨秀憧泉成佳正壯美玻惠茜京小 夜 佐 山春虹泉州竹嶽杏葉子里美泉月峰虹月秋苑影祥山子玉香草香琴	□□□□	照靜竹成成溪靄夕陽冠袖涼葉玻靜琴 節香虹華苑茜心霞子泉香香曉玉花月
長八四富 大〃中宝硯柏梶珠 墨文映綾曉桜霞源柏妻笠中葉東〃大高瀬東雅笠〃磯大葉〃玄船〃新富白愛游中麗〃書柏若有大雅 野戸谷貴 象 野春 心友悠 洋化心華月森墨創心科原勢月陽 阪風準戸光 原 辺泉月	五	五	五
美工渡藍及久鐘春裕真綵瑞半段 千節映久畠奥雪岡翰春百桂村山林草佐 藤辺川保 田 山原江 瀬 石田珠 孝 藤宅永 上屋 井田 出辺 田葉井田中 香和琇香翠田栄幸美理舟遙知 波舟笙恵智格霞邑舟瑠雅玉愛敦怜玉美 五健雅惠葉葉泉行め荷子子晴瑛扇里光栄川彩谿詔由麗満染	五	五	五
巍若須〃筆〃〃葉靜長京游曉桜中東書玄静若 玄野玄四花〃大霞桜東信書信玄〃曉北葉靜〃杉〃大 高玄有書柏葉〃〃静 山竹坂 原 月 野都墨月森野陽泉嶺 竹三默立黙谷象 象墨森陽大泉大 嶺 華府月	☆☆	☆☆	☆☆
貞柄白手石啓白鈴ま知惠相和友曉碧山祥鎌望武相段 章櫻薰高藤渢水桜湯江佐須山大華八喜伶真玉娥吉伸吉 澤木塚井 木井す 美木 田 上月居原 本 杉 谷 井田 久藤田島 千久 佐井 田 村 本 住 澤生玲谷澤 松智希和子美敏子貞子美代子蓬空采己小清典 慎敬淳不景花濤晨辰坂惠辰象香高紗葉代男那舟煌珠 榕山玄翠衛芳奈川み	段	段	段
蔽靜長大〃若 犀須〃筆美長霞桜大珠八大 華有美長八映風こ八八 梭笠美長麗富八伊梶新静こ長 野阪 竹 準悠坂 原 草葉墨森阪悠潮阪初雪象二野戸心士の南戸 準森草野墨士南奈友城 の寿二芳坂戸友雲黙戸都	☆☆	☆☆	☆☆
関佐中後清 文藤西藤水舞 田口多浦霧 予倉中田平田 達島笠 齊戸 田 中川橋塚田 合わ崎林原爪池 岩澤里野 川野山木田田 子里智田惣 恒智文祥千翠田師千菜賀訓 慧節湖節原岐和晶蕙惠 孤沙霽恵倫代江ると桃美里紫 完智次洋造花真恵禮由菜兎	段	段	段
長 磯有笠乙游乙美 珠桜港小杉〃晚高八 有北信葉松紅〃晚大桜 笠 石書北八 玄大若玄 濑大〃巍桜美〃大有 有書柏玄 翠 5 变象原訓墨訓生 4 悠森南平 月風潮 3 象府大月代竹 月阪森 2 原 峯集府朝 1 横阪駒心 特戶象 山森菜	○○	○○	○○
中級能麗と赤佳晨 級立桐慶鹿紅林後清齊 級夢凌伊善美下藤稻木降級百安唐朝頃中級一宗真美 級林亭須伊丸藤落岩妹渡級麗翠羽松 條勢 薦井 川原島 暢藤兼藤 藤智垣平垣下幡 漱達津 川 玉 佐 梨坂田登山本合村尾邊 田澤 正葉陽美和游扇英 萌憲子未流子瑞実 実橋翠均一子美朱昌研宗恭曉由子山美 枝栄花子 香美恵子強霽良真睦橙 竹幸龍翠	○○	○○	○○
玄正〃新大新〃宮四八四杉 沙花八名宵聖秀 五行	華倚曉巍文八こ信長八石 宮小石八〃成〃珠柏美葉サ大有 玄珠汀暁小大 模桂 城象城 地谷南谷 羅苑南東月雪	雪雲月山化戸の大野戸峯 8 川平峯潮 7 悠芳那月 ン阪象 6 横悠楓月光阪	○○
穴小川重齋神信中片山光青 富南北大俊鉢美 段 書	森順後生小千多杉ゆ西浦 級祐岸鉢峯明中級信玉竹ス穴平村石級加奥植唐佐小 原林鍋藤林 野山元 木忍崎村真津木 清 藤野葉智賀り野野 野木岸 村 田井内ミ倉山田井 藤野村木藤倉 義智麻千美桃子真記聴瑛響 则す知伸子納羽 石子文佑麗文谷翠子詩衣 貴澄捷真成由 陽杏良ス栄慶連節 穂璃萌曉威里	○○○○	○○○○
秀飯大 大高玄倭覗茜練〃 静横磯笠杉木〃玄〃〃高〃秀〃玄飯皓〃 華中〃〃北成城珠光〃若美竹〃平〃月珠綾〃大有玄 雪田阪象 準阪風心 馬 山二辺原 代 燿 風 雪 心田花 雪勢 府城彩紅丘 松二華 成 紅華 阪象燐	○○	○○	○○
鳥内愛後波 段林佐横小木吉鉢佳長今田酒和娘柴藤孝清小北岩井川美越充坂華森染桂佑宗宍桑平鉢鈴谷加鳥伊 夕忠尚恒小田山美青 井野 藤谷 珠孝山村田木 塚井島井 田山次兼林藤井上口 川 腹 清谷 希戸戸田原木通藤部藤篤 吉潤中濃木 優ま加田濤 怜美彩昭早富こ鳳祥秀盛尚美舟礼夏郎実真照保典水佳裕代儀輝石紀玉子千羌幸真光裕華昌幸優 佳男子櫻千満彰部清	段	段	段
富長靜〃華中北城〃竹信笠柏笠秀雅皓東曉 聖大秀梶霞志房長大宮松巣座秦游大八唯有〃杉信 名桜中倭富聖志長〃成光笠高 貴野 雪勢府彩 華大原芳原雪 花根月四 阪雪友墨摩風翠象地戸 吉野墨阪戸心象 大 東森野 貴 摩野 城二丘原風	○○	○○	○○
演竹手武華安成向清柿染山小成石中原林久藤 段坂齋佐浅服鶴林大小牛金長小三游岩工今小鱸圓佐及諷奥翠川奥宮中山中調中刈酒歌中 名之塚居 部田井田沼田浦澤井西口愛保平 野藤々野部飼幸池口丸子南原杉 村藤浪林桃藤久川訪原 岸崎川本西訪野込井田本 千内恵典渙ひ桂嘉真有教高祥衛と彩佳友多朱 明稚木洋佑と子夏久和千玉昭 す真和裕晴姫和間翠彩絆白亞と萌伊智内湖麻秀円裕	○○	○○	○○
中星倭富 練富〃高〃秀玄須信葉〃〃華美中〃〃横〃笠葉汀書名 文游一練〃 大書杉聖水玄〃 船大四八玄〃 中八倭覗 野 士 馬貴 風 雪心坂大月 雪菜勢 二 原月松泉東 準心墨絵馬 阪集 代耀 橋象谷南點 野潮 扇	○○	○○	○○
中湯根森 櫻熊波宇笛田柳松田伊吉森秋小安鈴藤浦小高古市山柴松須未段 若長宗吉簞賓仲長西水坂高伊神塚石落漆金山中冲古 嶋本知濱井谷多藤城見沼澤本鍋藤原田谷暮田木本田田矢崎川村藤田 田 杉竹像田 田 山戸村野本橋月谷越川合谷井田川真屋 志瑠和子 究利野静利千幹円加隆均永由賢華か華露恵明辰花沙優修友香棕 強雅キ真玉珠珠和智奈彩ゆ美晴萌菜久江勝笑榮美由緑	○○	○○	○○
大〃大〃長八名柏〃〃秀雅〃玄飯葉靜美〃一さ竹 芙横笠高〃 大珠曉秀文美長笠神 磯玄〃華星竹こ宮麗唯晏瀬霞〃四大美紅長玄八 象 淀 寿戸東芳 雪 心田月 那 葉わ華二二原風 阪悠月雪生化翠原龍三辺心 雪 友の地墨心墨戸墨 谷淀苑竹寿黙南	☆☆	☆☆	☆☆
林松岸小今江渡真中松今玉加成赤相蒲 S中阿奈向佐上清福宗津後原南越中手押段 石臼土齋上佐多都高古宇磯藤高道吉下井高新 照下本池村戸透篠西本國井藤田羽澤原ミ里里部都井藤村水田玉田藤田野谷條塚見 井野屋木久々賀竹田本留村 井杉喜岡垣向橋保 子百早紫久惠琳良美奈真力直見目ま美亮吾紀美江美弘訓恭采文彩辰信正希広 千ゆ恵忠祐保木谷惠倫賀ち恵理景正智美孝利	○○	○○	○○
柏〃柏〃北静玄〃瑞凜書小倭笠珠有大杉飯膳桜小龍文若一光 瑞大美柏若玄〃文杉石〃勝書サ桜柏倭乙松〃玄玄〃暁玄瀬〃船李 芳 雪府 横 祥集平 原悠徳阪 山木森平文化竹 絵丘 準祥阪苑芳宮樸 化峯 木泉ノ森心 訓代 燿 黙月戸 橋光	☆☆	☆☆	☆☆
羽竹里竹豊佐泉一高岩岸鹿河萩半柳廣片山山鏡岸尾小平館閑房 佐岩松黒增三 小永杉田後鑑平碧北千堀宮櫻下礼稻後高林平大原 田内川澤田藤さ丸村佐千島合原田澤中川崎嶇倉岳倉崎井澤根野 藤崎下岩原川藤野田崎部藤上山 原葉口山井枝 垣藤橋利野橋敬 龍良浩茅芽里らす美夏秋未真幸菜夢千精葉晶師澄尚光里舞瑠和 華和智完東梨久彩桃翠恭豊小慶空典美奈友法峯山昌瑞真香茉峻二	三	三	三
東八〃中久〃笠土北〃華信月書秀石小高文成 杉〃〃飯八倭長高笠横優横虹珠神〃北杉文大晴有珠千東笠瑞若杉 さ 成竹美横笠 根潮 野喜 原筆府 雪大 之雪峯平風化城 準 山潮 野風原二生二苑紅龍 府 化阪美穂悠曲根原祥松 二わ 城華二二原	二	二	二
松小畑田川手林山小鉢齊杉松関武唐富北安中段古山湯西仁 宮山牛高字赤吉朝松森細清猪木田山奥安兒小服川目段 豊酒長立宮猿 澤林実中鍋塚能崎島木藤崎本戸下津問藤部村 川崎本澤平豪島田山柳田澤川 尾詩田野保下辺手下藤玉林部島黒 泉田井谷川澤田 宋陽佑眞裕麻活ひ夢心綾翠納結由月宗美由 節杏鈴茉賀 節倭真滿川峯淳日朋音真簾美研患大璃由寛由桃郁久 茉真久川加帆朱	☆☆	☆☆	☆☆
秀 有大玄八〃凜八硯倭中小玄名大玄華城さ文〃華〃〃船志右大秀柏小若竹光一東中霞玄 東玄名 船大若 東凜柏〃秀和水書富 雪 準象淀心潮 心戸扇 野平黙東象樸雪彩わ化 雪 橋摩文阪雪芳平松華丘絵根央墨樸初光黙東 橋淀竹 光心芳 雪 代集士 ☆初 肥段近岩榎齊鈴細野宮中古羽稻大阿一李浜村寺村北出工笠大津落門平藤佐湯高安青阿小加段 大漆絆一中石小安奥菊荻常團今柴小岩 田 藤澤本藤木貝里嶋村田山岡津部 奈田山脇田澤口藤原西村合間井并藤澤樹柳部林藤 場谷川ノ村川山達山地原田桜惠田山野 来 節由友実紗愛次文成福游某彩麻枝菜韻直浩智博陽千芽麻星良翔尚和真洋裕楓裕泰由穂 照綾愛瀬喜智愛曉る拓千彗子美ま田塗	☆☆	☆☆	☆☆

笠”大奈柏柏和”紅李蒲”茜渚大倚有柏赤富北 阪華心芳 竹光田 内雲穂芳石土府特	大石玄玄小游大四”瀬八有芙竹”一月”成一藏八飯”若” 笠光優小練書備優原 大佐林倉鈴安森水大佐宮閑近楨 戸戸象二華 路 城葉 潤田 宮 原丘生光馬之後生 ☆☆
○○○○○2 加海妹胡内寺白湯清櫻神青坂城山宇松上宮今表級 木澤木口戸本野永條下井昇 熊木山部中田體辺川藤笠 本藤木慶崎田井浦文口子田万鶴木藤舞野嶋藤本戸藤本 こ旬曉正沙清き春洋恵未暉愛楓恵育梅和如郁我 信捷加真笑悠奈孫真ち原子麻李香子沙陽信碧子順佑幸寿ひ成す花晴曉威真輝ア紀	
巍皓玄美珠成北書大柱玄上玄華麗游 有山柏笠杉秀若竹土”“一吉北美榉宝中若曉”宝水大李”船”石八大飯杜竹倭若 山花心二紅城府集樸尾嶽雪墨 1穗愛芳原月雪松華筆 路祥府那森春野竹月 春代井光 橋 峯戸阪田会華 松特府野 ○○○○○1 深林小谷未農渡石山中北長小松門金級大紺小百柴所古佐佐磯佐一上鍋中丸門小皆唐土本白池吉吉工捲梅田岡渡泉小長東級栗松古大 川さ池協 原部川田山川谷林井倉子 石谷林瀬田雅賀藤藤部藤糸野島村山田林川木屋城鳥田野藤原崎名本邊水林濱岡 田嶋田和 穂え葉立沙瑠祐靜里正深舞礼佑奈友 慈紀洋恭莉玖仁美渚浩暎ひ沙誠古強千彩恵曉遙里惠佑舜颯文哲部紗愛敬優孔胡 果海華美	
静”中樺大凜靜富”産長游”名玄石中龍杉珠光優土美名ひ 名光晴大皓書一茅北華中凜宝晏”練硯杉四長朝杜上杜乙美光一皓 東 野森象心翠土 吉寿墨 東黒峯央文 懿丘生筆菜東ま 3東丘美阪花之路野府雪野心春墨 馬扇 谷寿日会尾会訓那丘絵花2陽 ○○○○○	
鈴高桐古圓星鈴長大有田菊伊森北平神野立岩大石笠高廣級山古石村水柳安真丸中小関古米金澤本石峰中秋松大益永渡須鈴大級井 木川原山道佳木美村賀村地藤田野長田川立嶋崎原須瀬 田賀澤田田岡渠道山畠高根田倉井田川須田木坪 田 そ彩富憲通朱奈禮遭じ稍由誠試修弘三茉明碧り浩亮俊 純大理連有奈岡陸麻大利響節拓陽友賀智玲恵地文と寿千麻千愛	
””土曉虹珠照”北華東京東磯杉映大新”船”高花奈”名石八龍櫻虹杉室内小春文有笠秀月船名石中大 大花杉大柏備若竹北”華 筆華苑紅澤 府雪樸根 心淀城 橋 社宛華 東峯潮文森友 春藤光玖化象原雪 橋東峯央象4象運 手旁後松華府 ○○○○○○○○○○	
鈴大江大秋青百石中畔南佐小熊山小加羽川湯上藤夏笠木坂峯降岩根長内石棲住三鰐井忍菊須浦坂牧級古大櫻藤中柳川龜高星今 木 嶋澤尾 漑田谷鶴紗藤坂田川畠田崎本野山野山下田岸田幡木津山藤橋本吉宅田澤足 田永野本原川森田田澤武島井野井 啓知涼順朋空友夏理智英は志呉夏さ真圭袖恵ほ啓末翔千容真小宗ち益美麻葵光美か耀芽友美幸千衣幹淨 菓か美美亥和実七日斗直	
成ひ書右星み高名 笠富巍大右珠杉柏”石桜李山新美杉大松中秀笠和若有玄碩み練富長”光 大大”””笠玄光””秀””美若 城ま集文 な社東 6原土山阪文悠 心峯 光愛城苑 井代野雪原 竹象默雲な馬貴野丘 5阪手 原嶽丘 雪 二松 ○○○○○○○○○○○○○○○○	
猪小増中安大小小大級古池小小澤信杉西大中尾石大唐乾成永闌外沖古奥小石渡篠上佐菊浅中須級手玉松三三中宮栗湯小東井脇星堀片 股林田尾藤坂西 烟川杉倉村田浦澤竹村崎松楓聖瀬原間山山畠林井部原田藤地沼村田 塚井田村溝田原原下牧出上山野内山 有史令若勝典早晴 和琴佑里琴陽香美亞直裕美茂和子明み千倅菜奏圭楓節由あ美雅霞清芹歩 真ま遙は梓叶杏聰亞由先桃幸妙淳雅	
曉華北ひ一若光笠高山四桜霞”光 千””巍杉小八柏玄李大””み四””杉富硯虹松若内華茅ひ”珠城若青美杉玄””笠””八千秀高 月雪府ま路松丘原風愛谷 墓丘7曲 山 光潮心黙光田 な谷 士扇附代竹藤雪野ま 紅彩松雲二月心 原 戸曲雪社 ○○○○○	
林小岩高齋新須赤熊渡大原阿小級山堀高メ野曾岩大金吉中嶋秦井原小玉橋津闇西加菊飯百由美緒谷池藤鑑石丸小丸山西千中藤坂 眞林崎林藤坂田羽谷久貴原塚部林 下田部イ崎我田谷田島原喜上 木林本上間田藤地嶋瀬 方美田平田井山路山崎野葉沢原田 子ま喜虎ひ優明千絵美陽沙杏有 紗恵明夷ア部記優健嵐咲舞代清恵美和明信祐海麻洋ま奈幸葉亞並優響克は里詩文愛葉真	
大文玄宮港サ柏光 阪化黙川南ン心丘 五仮 京樟照 み巍承照杉四竹信玄杉自練”承八玄大””杉””北美””秀光千柏茅倭杉四承優小 葦宇山産李杉 都森澤 課な山風澤 谷華大樸 産馬 風潮黙田 府二 雪丘曲芳野 谷風生光 8 土愛吉光 ○○○○○○○○○○○○○○	
林節南祐慶平合友珠 山葉野 恒舟花貴子慶詔和 段名 紀田伴 達森原藤小西井穴登越庄小兵二大秋廣柿和後吉若若平小李千金北赤平柿柳尾澤井 級寺岩干濱藤小 中野い田田原沢郷上戸内智司池頭本村元谷崎賀藤村月野山知葉井澤坂田崎澤形井上 田崎田井川 子孤奈 更久秀智美リ優光美治節ア柳福真直洋井雅真並千亞恵午月江昭景佳留千千麻和 真園美純和晏	
倭梶八北横大高こ”若美””礪光玄三頃杉葉中””北嵐皓””玄季””新””宮富崖””游笠和””華””杉倭志蒲沙大中水静東覗茜富”” 友潮府二阪風の 松二 辺丘嶽池雲 月勢 府山花 横光 城 地貴吉 墓原 雪 摩田羅象野代山根 貴	
川柏仁吉小伸小橋加乘鳥能閑鈴土溪文宮村桂佑指宍宍増岡穴太幸日た信中安萌赤游百大小染華茂青積倉染富渋み佳今齋木吉俊田田 岸崎平富田 林爪藤田部勢弘木 入石 希田戸戸井田原出か野 井 澪森林谷 木木田谷合崎谷代井藤村田 中中 亞と賀慶明珠真里昌葉幸葉子裕鳳凰杜愛玉子惠千羌久み義荷江子子貞夫真夷草雅淳華紀輝望響清奏浩則壽子子由早富瑛滿彰	
飯須皓八玄倭星高美中美若土””横笠杉倭志 杉美新宮””四富杉”””玄綾東野船””コ龍大麗曉””中大文有小勝八 珠游玄長八 田坂花戸樸 風菜勢二松筆 二原 摩 菜城地 谷貴 燿華根辺橋の文象墨月 野阪化象平木潮準紅墨嶽寿戸 五	
完富坂工虹根佐森成刈谷亞高宮田高歌鈴小山及吉大川牛竹高渡濱長藤坂下桜小久櫻神清 齋高藤翠中松越小岸山中段珠長松柴谷 澤腰藤川真本孝齋田込通利柳澤島橋田木本川田橋鍋丸下杉込名南山本枝井潤保本谷田彩藤田平 嶋田谷林野崎川 竹澤寿地 硕智儀和梨由和美千桂湖華沙満帆盛辰円蘭昭伊翠煌霽麻和蕙景琇千玉夏ゆ峯法千多淳美晶 美倫朱白志司信晴澄晶美 鳯雅翠雅春	
””大穀宮四杉静””新松水””華高星横こ””笠””柏秀””華雅長””静さ平竹””玄笠石若曉””様練和””大四富瀬杉美美信名桜 静珠秀 阪雲地谷 準 城戸代 雪風 二の 原 芳雪 雪 野 わ成華 畠原峯竹月 森馬 阪谷貴戸 生苑大東 四翠紅雪 四	
後廣土都圭煌佐段重神金柴森華北上牧多山石上真成鈴森齊原手武蒲豊夕理望采市杉真後碧奥吉松簾濱石奥磯六鈴沙佐敦尾 段伊恒井 藤中屋竹 藤 松林子田田 藤久野賀村井村篠澤木清藤口塚居原泉 月 川崎由藤 原田本 田川崎村波木 久 嶺 勢吉上 田千さ恵心朋千千子千千子由溪通博谷優和美良衛納絃綾佳恵典美葉佳香清葉沙翠美瑞空終真孝玉珠久とち羅久蘭間子芳 嶺櫻典	
杉瑞有大笠華皓高 水柏娘長珠石秀倭高柏和”華雅竹玄高八優””横””笠””柏乙富””杉長北光樅小大暁””中晏静倭書紅長八書 洋穗阪原雪花風 三代扇心翠悠峯雪 友樸風戸生 二 原 芳訓士 野府丘友平象月 野墨山 集竹寿戸泉	
目実柳宗小小林岩段水古北中津唐稻森清竹田齋安玉佐高中小宇赤古手猿平黒羽堀 圓永中向高浅鹿塚稻湯金山宇長千岸下寿江鍊 黒澤玉林暮愛井 野屋原條田津見知兼内島部井々橋本笠田藤澤矢塚田井岩田口溝藤田西井構野島越垣本井田留塚葉千垣 戸上 久熟夢栄由華友保 彩綠典正恭由千子実良静祐ひカ木真裕原川江峯花希朱尚完龍奈 和桃智嘉裕洋未菜昌瑞笑栄賀祥美秋美香惠小 八信晴怕””笠須””玄四瀬””大紅小有榉暁杉””大八文北文 芙大一若””笠珠華書土杉長中葉さ光神土大””長””勝八大玄李富瀬 潮大美芳 原坂 横谷戸 淀竹平象森月 阪潮化府化準二阪路宮 原悠雪集筆 野勢月わ丘龍筆淀 寿 木潮象樸光貴戸 三	
齊山田上百小牛倉田南一藤安岸道塙山近鎌林鱸妹福小三豊安段立岩一增萩手半北小絵長宮浦吉阿酒松川松寿一田後倉林泉原宮吉 藤田辺條瀬浦山嶋鍋紗 井藤本喜明中藤倉眞桃尾田林藤田部 川崎糸原原塚田澤山 戸島田原部井尾上下 ノ部藤 照さ敬崎川 実高恵和恭祥真ひ隆英枝理ち早正子笑節師子媚睦訓陽久芽美 加和ひ東幸麻葉博田美智節恵永紀秀朋紗百星敬瀬恭子子ら二幾真	
大備若藏大久””若秀瀬華””杉一光神一虹秀柏笠東玄汀彦奈小若乙東硯優若成美 笠信有大葉美平磯和””笠倭書久東中曉晏北珠 淀後松 阪喜 竹雪戸雪初 葉丘龍路苑雪芳原根樸松吉華平竹訓根 生宮城那 準原大穀阪月二成辺 原 集喜光央月墨屋悠二 四	
石柳川閑岡川明平内林季段野清吉空押鉢吉田荻加北作大胡當小藤青館大須中ス段森伊松岩相向佐石今林安 石桜奥唐米細奥 川武島文鍋 井野梨奈 田野浦立見木川川原藤玉川森村内間山本柳澤嶋田村ミ 舞藤永木澤井藤井能藤豪川 山部木倉田手 智和郁子紗裕音里ま香菜 三草碧明広香淳美千こ寛深ミし正月愛厚裕舞瞳幸由ス 花均梅真ま美信千美活す 静嵐の泰暁節真璃	

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回ると昇段する。ただし師範部は除く。）

大志瑞宝華游秀杜名	八北竹千若	李	石大倚硯富赤大笠高若	秀小榉大有	大一若美和映	華杜小富東八芙優竹笠秀八玄四杉東井摩祥春雪墨雲会東特潮府華曲松	光	峯象雲扇土石手原風宮	雪平森淀穗	阪路松二	心準雪會平士根潮二生華原雪戶樸谷	光初
○○○○○2												
池大佐長石金中大級	峯森染安佐安樺門鈴阿宇宮岩宮藤大清林里今藤丸正山落木花古谷白山段											
田西藤山戸子西山津	岸詩谷藤藤達本原木部野嶋下田和水万川國井山體下合下											
惠麻華美患友正伸	真音教由真曉恵文捷麻育文楽如美美弘寿浩真和強奈大良研天仁立き夏											
高柏名石杜高乙山玄石秀石上杜	文右大唯	北一	秀柏霞柏奈	宝飯倭星石名華杉遊座高	若さ大	北一秀光備磯玄玄名美	大風芳東峯会社士訓愛心峯雪峯尾会	1化文内心	府路	雪芳墨心華	春山	峯東雪
○○○○○												
宇小諫中益上玉永紺松阪川浦長松級	尾澤山今松若佐松原寺櫻内夏本門惠長安大末松小山長山段											
城林訪村田野木瀟谷本田口野谷澤	崎村本浪嶋月藤本田島井堀山城田美瀟藤竹田井林村美田											
利洋彩直文ほ美和紀加容水衣舞惠	光琴幸裕海亜啖奈彩清晨沙未袖千子孔勝亞椋佑幸由佐倭											
光〃	笠高	杉茜右大右宝東桿上茅小笠石美	秀巍大八松虹杉唯大若	〃笠皓光名み高長美	有千中宝	〃華北照若秀光丘	原風	文象文春陽森尾野原峯苑3	雪山阪朝代友	心阪松	原	花原庄東な風野菜2穂曲央春
○○○○○												
中中鎌三北原山栗津古中古井桐大貞曾丸北松級	佐鳥深小岩宮岩石古海谷松宮三水林古須山上北浅笠級											
村田村藤	田田村川尾田原角道我山野下々井川倉田山戸川本津美田原溝田さ畑田田藤沼原											
芹叶耀は宗惠靖果星遙若響愛憲地陸部響修智	木優穂里記友ち友惠旬葉透杏梓有え奏千純美静清浩											
柏頃虹暁有北若葉笠山東春	大若北秀珠照虹珠	茉光皓龍紅大	西覗中書珠小北秀玄み有秀	笠中珠小み静一美	〃秀	笠高若秀光丘	原風	5象竹府雪阪悠澤苑紅	二丘花文竹淀	士野集悠光附雪鑑な象戸4原	央悠光な路二	雪
○○○○○○○○												
大輝津富夢高弓柴山渡佐榎級	古小植門手信百萩青堀脇千大信湯小青坂小池田増玉佐中竹栗素小石千											
谷上山	野山崎崎久蘿本川林野間塚田瀬尾内山葉坪											
優子明智橋日雅修里美は光	葵楓光翔真陽友朋空淳幸月千夫春さ暉愛志琴彩令杏威理芽聰典節文											
曉桜	巍信玄照自華高硯美四承	小唯優山光李大硯杉成秀	李玄	優北秀	秀	笠千新み桜若茅光高八	秀巍晴杉秀北若玄大笠	月森課	山大黙澤産雪社宛谷8風光心生愛丘光井扇	城雪	光心7生府	雪原曲城な森松丘社戸6雪山美
題	○○○○○○○○											
後田達メ高登漆小小坂橋知柳級	尾井聰澤岩古藤永本小重團石吉安級	大渡冲小小赤中加嶋降新赤小西級	所小石野武石川小玉丸西	藤中伊部内谷沢池林田本澤形上	井田賀井原田柳田松田部	鷗部山牧路羽沢烟原幡堀堀林坂野	雅杉澤崎下田島池井山澤文孤	ヤ明光綾智節ま真和子千	千子ア麻美大和み陽れ陽子美眞貴碧祐菜由克千愛真舞宗優景有早詩	玖佑理美由夏実茉まは美		
信正華城京大飯練玄徒游長葉華秀笠若光	大有玄有秀雅書若光東倭瀬富	美野船石名瀬李	若倭新聖水北聖大雅	秀雪	大桂雪彩都阪四田馬樺馬墨野月雪雪原松丘	象阪模象雪準	之松丘根戸貴	墨辺堺東戸光	松城代府阪五硬			
佐花齋清中仲段	吉吉川宮鈴青杏鈴染甘百谷友大林永	小井段	清翠加酒秋楓水藍吉照複中菅諷水京戸衆川彩美隆小植田雅段	筆	古							
久木野田	川田田木木木谷中瀬遥野島珠麗林上永											
間峰祐真惠珠	成真美萌こ由静敏記恵雅華和紗恰麗											
若李	船石長雅磯和光大美倭四游船大英聖	華長皓和若聖倭桜	船小名珠大秀美小名	大桜游サ勝中	華	玄麗倭杉竹光橋峯翠	辺丘象生谷墨橋阪三荳	雪野花竹	戸森橋平東	準阪森墨ノ木勢	雪	樸墨
冠幸伊大杉大玉井今鉢塚鈴	光長平廣段	川西秋森美林松明坂森磯宮高神山渡敷半松田ス木末	葦奥神平後桂華安土華川穴高千明	月橋崎池井上惠木越木豪	竹野中名村谷田愛本	野知村沢橋谷中造	田川田ミ田	原山山藤	田屋	田原田葉泉江晴峻翠久カ葉美裕菜久	瑛雅美千弘奈賢由香友孝音萌子ち暉美萌笑琳子菜司美ス華椋	玉終禮慶豊玉溪か惠輝か義倫美
船東船大橋光橋阪東森	大北名桜船名高華さ秀若湊倭四玄文石珠	大茅	若新葉磯大茅小若文光一城灘暎湊亥瀬富松李名勝八龍四珠聖美大	生阪	☆二							
中出妹岩豊大田渡工松湯安阿武小藤中藤稲爽唐津宗福峰段	平渡知酒濱演藤真三高一浜岩後景一林小金原絆田斎小竹奥南織後村み口尾崎田津中辺藤本部下山森井岡津田玉王井辻井田	田	井辻井田藤糸田佐藤梨柴子敬川部藤倉下手澤戸藤喜え陽陸和芽伸孤歩水恵ひ紀由愛皓成葉節由恭栄訓	里晴真尚珠道和花久絆ひ郁夏瑞秀枝香清千二愛恭美尚惠瑠姫農田	☆四							
優房游	中華照〃若ケ嵐若久富富船名山葉上一玄	光若灘名高有華暁	大雅晴華静華若	笠光凜松右瀨	華一書和瀬國紅玄	飯生風墨	浦勢雪澤	宮山竹喜士貴橋東愛月尾葉心丘松心東社雪華初阪美雪	雪雪宮原	丘心代文戸	雪葉之戸府竹樺山	☆五
宇壺游浦	森照大白林增皆川玉波工山白敏長吉越中文川閑大上柳村八段	岩原田斎佐中増小久城須細宮津吉鈴李伊関伊前下嶺山湯田	田清森崎万井川鍋木多藤田井谷浦川村野島根津野澤千田口	辺藤糸原口	田田貝山村川木奈藤戸島藤山垣	崎本川登真	惠石好淳き寿弥恵裕美野颶純衣子舞碧裕芹未郁莉彩ほ夢智代	真佳惠綾里麻東雅惠真千愛友星真心菜直結静道景美化杏鈴				
乙〃茜紅飯〃	船名玄龍珠凜玄北名麗桜華	美さ富灘石秀千光若竹嵐瀬映船山	秀照	北巍華長書若山石小石唯大珠秀訓	雪澤	院	竹山	橋雪東黙文心	心	心	心	☆六
○○○○○○○○												
永青坂栗西大加菊原笠森神立圓五森木門尾松級	刈村岩稲加阪中山古佐柿增安山笠紺鈴内常田百細小深石晃関須長浦鹿鈴今落信松瀬木口田本澤城藤田田野長川道	詩下倉崎井込山野垣藤田西下賀藤沼井岡藤原谷木野田沼瀬田島川田戸田井野島木浪合田本和暉果春榮麻広幸彩翔幸弘朱福音千奈芳劳	湖直梁富容美紗大有久ち夏芽紀納マ彗友幹真夢穂離靜輝幸裕衣未捷裕良陽奈	高中東名光秀渚小船大朝勝願	有秀華皓石湊船紅四線	若美若大	若大	皓書秀照茅松	船	名石東龍大上	光優光富曉石若東聖右社央光東丘雪	光橋阪日木心1象雪花峯橋竹谷馬特二松手花之
○○○○○○○○												
小坂奥竹水城石川小秋堀川級	愛里石林大妙佐高美橋	小立古藤水大柳井稻照赤美羽吉菊伊須中大石木大千須大小濱唐小川井山澤坂本山内野澤戸橋崎山好北戸	川戸さ竹竹橋本林川賀田田坪岡上見	堀智田野地藤永村場田下角葉田崎林名木林島田崎村早幹る聖靖芽斐葵袖里玲美貫	麗浩恵え亞仙健久朋雄	楓加仁美有千奈桃千と景子圭舜絵誠千直照小研地月歩瞳有千曉由実愛理琴	山若若	〃巍李石み若優秀玄和美有玄秀葉秀李北秀美國み右光静北	秀千優小	北	国秀和美高有石桜富庶名茅	〃華秀若蔽愛松竹5山光峯な竹生雪心
○○○○○○○○												
竹片柳級	原小石北森耕澤門小川堀美安級	川柴佐吉表小脇景鳴中岩静石所沖中大森中高級	景柳奧福坂近懃碧池秀大	級	真岸菊畔今東梅原山澤	田杉松野田井間池武内濃部	口崎々田昇牧山原尾立	田雅山沢岡康谷野澤田本藤原川	西道可地柳國岡千雅絢	久佑美修更山麻翔茱靖淳部貞	水修木祖我由幸仙舞若明幸夏秋菜愛碧子理日	泉円圭麻真節文空琴娥晴
巍笠大玄巍磯青静	杉名	巍照四游華秀玄文北静小み光千	山汀山大	若苑山大城長華	〃巍大美四松桜静若有山原象默山辺雲	東課	山澤谷墨雪8	黙化府光な丘曲	愛松愛7手	二松	愛阪彩野6雪	阪谷二代森翠竹象
条隨	題	新新	○○○○○○○○									
翠泰京光霞葉竹優幅意	曉高違メ小井田小小級	梅寺岩吉佐小井金渡瀧順岩級	玉向藤新澄藤手緒ゆ	級	北堀武高村星井閏降伊清石須い部イ沢上村林山原脇崎澤藤泉山井久口田井并平堀	澤塚方り	澤田田部田野上間幡勢水井山仙香紗菖蕉虹月	汀亮朱ヤ智リ由ま恵	美浩喜静威典志江美理子美	ま美亞優子知真純子	博惠通明連妙清千宗崎憧節	

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。



支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

□は写真版（昇級しない）○は昇級（1階級昇級する）☆は秀作（同段位で二回とると昇段する。ただし師範部は除く。）

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。



注意1. バーコード出品券と作品の段級位の不一致にご注意下さい。

2. バーコード出品券には必ず〇印と段級位等を、作品には段級位、名前を書いて下さい。

3. バーコード出品券の種別(臨規や仮規等)の○印の誤りに、ご注意下さい。

※上記の譲りがあった場合、正しい登録名列の各段級位の最後列にお名前が入っています。

支部別の発表です。個人出品は「その他」として巻末にあります。

# 第82回謙慎書道会展

第一会場・東京都美術館  
期　日・3月18日(水)～3月23日(月)

午前9時30分～午後5時30分まで  
(入場は閉室の30分前まで。最終日は午後2時閉会)

第二会場・池袋サンシャインシティ  
ワールドインポートマートビル4階  
期　日・3月17日(火)～3月22日(日)

午前10時～午後6時まで  
(入場は閉館の30分前まで。最終日は午後4時30分閉会)

◇第二会場には特別賞選考委員の小作品を展示いたします◇

主催・謙慎書道聞会社  
後援・読売新聞

## 【第一会場 東京都美術館】

〈デモンストレーション〉 3月18日(水) 11時・14時  
〈ギャラリートーク〉 漢字 3月19日(木) 11時・14時  
漢字 篆刻 3月21日(土) 11時・14時  
漢字 仮名 3月22日(日) 11時・14時

## 〈特別企画〉

『文字の動物園』 3月18日(水)～23日(月)10時～16時30分  
(最終日は13時30分終了)

## 【第二会場 池袋サンシャインシティワールドインポートマートビル4階】

〈ギャラリートーク〉 3月21日(土) 14時  
〈特別企画〉  
『文字の水族館』 3月17日(火)～22日(日)10時30分～17時  
(最終日は15時終了)



お詫びし訂正	「お詫びと訂正」の記文「圓」は「圖」の誤りでした。	氏名	書象会便り
振替口座	郵便番号180001電話〇四三(五三)九七四三	代 表 発 行 人	(有) 楽書堂
株 式 会 社	東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六	上 條	夫 倭 象
リ ン ク ス 象	(有) 楽書堂	山 田 倭 歌	山 田 真 菜
印 刷 所	振替口座〇〇一九〇一七一五六九一	秋 山 純 子	佐 孝 美 也
会 社	郵便番号180001電話〇四三(五三)九七四三	北 川 高 月	長 谷 川 清 風
リ ン ク	東京都武蔵野市吉祥寺北町四一三一六	佐 実 紅	佐 美 也
ス 象	(有) 楽書堂	清 兼 実 紅	高 月

◆ 第82回謙慎書道会展  
標記の第一回添削会が令和元年十二月二十二日(月)武蔵野公会堂において開催されました。当番審査員の先生方から、一点会員に丁寧な諸注意や指導が行われました。一月十三日(月)祝は武蔵野スイングホールにおいて開催されました。二月二日(日)の作品提出では、努力作品が出品できるよう頑張りました。  
◆ 令和二年度理事会  
第一回添削会が令和二年三月三日(月)祝午後四時から武蔵野スイングホールにおいて開催されました。会員に予算等が協議されました。二月二日(日)の作品提出では、努力作品が出品できるよう頑張りました。  
◆ 令和二年度理事会  
第一回添削会が令和二年三月十八日(火)十一時より杉山暁雲先生による席上揮毫が行われます。  
◆ 第82回謙慎書道会展(東京都美術館)  
第一回添削会が令和二年三月十九日(木)十一時より山口啓山によるギャラリートークが行われます。  
◆ 令和二年度理事会  
第一回添削会が令和二年三月十九日(木)十一時より山口啓山によるギャラリートークが行われます。